

筑波大学大学院人間総合科学研究科 博士前期課程 芸術専攻 履修便覧 2019

目次

- 1 まえがき
 - 2 例言
 - 3 2019年度学年歴
 - 4 2019年度学年歴カレンダー
-

専攻概要

- 7 教育目標・方針
 - 8 履修方法・課程修了要件
 - 9 開設授業科目一覧
 - 23 教育職員免許状（専修免許状）対応科目について
 - 26 参考履修例
-

資料

- 43 1 修了までの流れ
 - 44 2 書式見本：研究動向調査票
 - 46 3 書式見本：修士論文計画届
 - 47 4 書式見本：修士論文題目（確定）届
 - 48 5 書式見本：修了研究の提出方法／学位論文審査願
 - 49 6 書式見本：論文概要の書き方について
 - 50 7 書式見本：修士論文の書き方について／論文表紙の例
 - 51 8 書式見本：論文目録
 - 53 9 書式見本：履歴書
 - 55 10 書式見本：論文目録（作品）
 - 56 11 書式見本：論文受領票
 - 57 12 書式見本：梗概集 要項とスケジュール（参考）
 - 58 13 書式見本：梗概集における修士論文題目の英文併記について
 - 59 14 書式見本：梗概集レイアウト指示サンプル・原稿整理用紙
 - 60 15 書式見本：研究・作品公開の承諾について
 - 61 16 芸術関連施設等配置図
 - 62 人間総合科学研究科芸術専攻授業担当教員オフィスアワー等一覧
-

まえがき

2019 年度履修便覧は、学生の皆さんが、人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻の教育目標・方針に基づき開設されている各授業科目の趣旨や内容を理解し、適切な履修計画が立てられるように作成されたものです。

指導教員の下で自己の研究課題、履修目的を明確にし、本専攻の教育課程に基づいて、履修計画を立ててください。

主な掲載内容は、授業の履修例の他、入学時に提出する研究動向調査票・履修手続き、修了時の修了研究題目提出にかかわるもの、および教員別オフィスアワー一覧等です。大学ホームページ掲載の「大学院便覧」とともにこの履修便覧を活用して下さい。充実した研究成果が得られることを期待します。

平成 31 年 3 月

人間総合科学研究科
博士前期課程芸術専攻長

例言

1. この履修便覧は、人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻の 2019 年度の専攻概要及び各種資料などを示したものである。
2. 履修上の一般規則は筑波大学大学院便覧に詳述されているので、この履修便覧と併せて熟読し履修計画を立てること。
3. この履修便覧の内容や記載事項に変更が生じた場合は、その都度カリキュラム委員会が訂正ないし補正を行うので、掲示に注意すること。

平成 31 年 3 月

博士前期課程芸術専攻カリキュラム委員会

2019年度 学年暦

事項	学群	大 学 院 【 】印は 東京キャンパス
春学期（4月1日～9月30日）		
学年開始	4月 1日（月）	4月 1日（月）
春季休業	4月 1日（月）～ 4月 7日（日）	4月 1日（月）～ 4月 7日（日） 【4月 1日（月）～ 4月 8日（月）】
入学式	4月 8日（月）	4月 8日（月） 【4月 6日（土）】
新入生オリエンテーション	4月 8日（月）～ 4月 10日（水）	4月 8日（月）、4月 9日（火） 【4月 6日（土）】
春学期授業開始	4月 11日（木）	4月 10日（水） 【4月 9日（火）】
春季スポーツ・デー	5月 11日（土）～ 5月 12日（日）	5月 11日（土）～ 5月 12日（日）
春 AB モジュール期末試験	6月 28日（金）～ 7月 4日（木）	6月 28日（金）～ 7月 4日（木）
春 ABC モジュール期末試験	8月 5日（月）～ 8月 9日（金）	8月 5日（月）～ 8月 9日（金） 【7月 30日（火）～ 8月 3日（土）】
春学期授業終了	8月 9日（金）	8月 9日（金） 【7月 27日（土）】
期末試験予備日		【8月 6日（火）～ 8月 8日（木）】
夏季休業	8月 10日（土）～ 9月 30日（月）	8月 10日（土）～ 9月 30日（月） 【8月 9日（金）～ 9月 30日（月）】
卒業式	9月 25日（水）	
大学院学位記授与式		9月 25日（水）
秋学期（10月1日～3月31日）		
秋学期入学式	9月 30日（月）	9月 30日（月）
★1 開学記念日	10月 1日（火）	10月 1日（火）
秋学期授業開始	10月 1日（火）	10月 1日（火） 【10月 1日（火）】
筑波キャンパス電気設備点検（全学停電）	10月下旬（予定）	10月下旬（予定）
★2 学園祭	11月 2日（土）～ 11月 4日（月）	11月 2日（土）～ 11月 4日（月）
秋 A モジュール末予備日	11月 11日（月）	11月 11日（月）
秋季スポーツ・デー	11月 16日（土）～ 11月 17日（日）	11月 16日（土）～ 11月 17日（日）
秋 AB モジュール期末試験	12月 20日（金）～ 12月 26日（木）	12月 20日（金）～ 12月 26日（木）
冬季休業	12月 27日（金）～ 1月 5日（日）	12月 27日（金）～ 1月 5日（日） 【12月 25日（水）～ 1月 6日（月）】
秋 ABC モジュール期末試験	2月 4日（火）、2月 7日（金）、 2月 10日（月）、2月 12日（水）、 2月 13日（木）	2月 4日（火）、2月 7日（金）、 2月 10日（月）、2月 12日（水）、 2月 13日（木） 【1月 28日（火）～ 1月 31日（金）、 2月 15日（土）】
秋学期授業終了	2月 13日（木）	2月 13日（木） 【2月 8日（土）】
期末試験予備日	2月 14日（金）	2月 14日（金） 【2月 4日（火）～ 2月 6日（木）】
春季休業	2月 15日（土）～ 3月 31日（火）	2月 15日（土）～ 3月 31日（火） 【2月 16日（日）～ 3月 31日（火）】
卒業式	3月 25日（水）	
大学院学位記授与式		3月 25日（水） 【3月 28日（土）】
学年終了	3月 31日（火）	3月 31日（火） 【3月 31日（火）】

（備 考）

- ★1 10月1日（火）の開学記念日は、休講とせずに授業を実施する。
- ★2 学園祭の実施に伴い、11月5日（火）の授業は臨時休講とする。（東京キャンパスを除く）
- 3 定期健康診断の日程については、別に定め、実施時間に当たる学群・学類の当該年次及び研究科の授業は、臨時休講とする。（東京キャンパスを除く）
- 4 授業日数確保のため、下記のとおり曜日を振替えて授業を実施する。（東京キャンパスを除く）
5月9日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。7月19日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
10月18日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。11月6日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
11月7日は振替え授業日とし、火曜日の授業を実施する。11月26日は振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。
1月16日は振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。1月22日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
- 5 推薦入試の実施に伴い、11月27日（水）～11月29日（金）は全日臨時休業とする。（東京キャンパスを除く）
- 6 大学入試センター試験の実施に伴い、1月17日（金）及び1月20日（月）は全日臨時休業とする。（東京キャンパスを除く）
- 7 医学類に係る卒業日は平成32年3月10日とし、卒業式は上記日程に従い実施する。
- ※ 学期（学期の区分）は、春学期と秋学期の2学期とし、5週単位の6つ（春A、春B、春C、秋A、秋B、秋C）のモジュールで構成する。




注）各モジュールの授業実施期間については、筑波大学ホームページ『平成31年度大学院便覧』『学年暦カレンダー』を参照すること。


2019年度学年暦カレンダー

大学院関係:筑波キャンパス

春 学 期																	秋 学 期																
パターン1(A～Cモジュールを基本) ・A～Cモジュール15週授業+期末試験								パターン2(A,Bモジュールを基本) ・A,Bモジュール10週授業+期末試験 ・Cモジュール5週授業								パターン1(A～Cモジュールを基本) ・A～Cモジュール15週授業+期末試験								パターン2(A,Bモジュールを基本) ・A,Bモジュール10週授業+期末試験 ・Cモジュール5週授業									
曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	備考								曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	備考									
4月			1	2	3	4	5	6	春季休業4.1～4.7 入学式4.8 新入生オリエンテーション4.8～4.9 春学期授業開始4.10								10月				1	2	3	4	5	開学記念日 10.1 秋学期授業開始10.1							
	7	8	9	10	11	12	13	6										7	8	9	10	11	12										
	14	15	16	17	18	19	20	13										14	15	16	17	18	19										
	21	22	23	24	25	26	27	20										21	22	23	24	25	26										
	28	29	30					27										28	29	30	31												
5月					1	2	3	4	※9日は月曜日の授業を実施 春季スポーツ・デー5.11～5.12								11月						1	2	学園祭11.2～11.4 ※6日は月曜日の授業を実施 ※7日は火曜日の授業を実施 予備日11.11 秋季スポーツ・デー11.16～11.17 推薦入試11.28～11.29 ※26日は金曜日の授業を実施								
	5	6	7	8	9	10	11	3										4	5	6	7	8	9										
	12	13	14	15	16	17	18	10										11	12	13	14	15	16										
	19	20	21	22	23	24	25	17										18	19	20	21	22	23										
	26	27	28	29	30	31		24										25	26	27	28	29	30										
6月							1	春ABモジュール期末試験6.28～7.4								12月	1	2	3	4	5	6	7	秋ABモジュール期末試験12.20～12.26 冬季休業12.27～1.5									
	2	3	4	5	6	7	8										8	9	10	11	12	13	14										
	9	10	11	12	13	14	15										15	16	17	18	19	20	21										
	16	17	18	19	20	21	22										22	23	24	25	26	27	28										
	23	24	25	26	27	28	29										29	30	31														
30							30																										
7月		1	2	3	4	5	6	※19日は月曜日の授業を実施								1月					1	2	3	4	センター試験1.18～1.19 ※16日は金曜日の授業を実施 ※22日は月曜日の授業を実施								
	7	8	9	10	11	12	13										5	6	7	8	9	10	11										
	14	15	16	17	18	19	20										12	13	14	15	16	17	18										
	21	22	23	24	25	26	27										19	20	21	22	23	24	25										
	28	29	30	31													26	27	28	29	30	31											
8月						1	2	3	春ABCモジュール期末試験8.5～8.9 春学期授業終了8.9 夏季休業8.10～9.30								2月							1	秋ABCモジュール期末試験 2.4、2.7～2.13 秋学期授業終了2.13 期末試験予備日2.14 春季休業2.15～3.31								
	4	5	6	7	8	9	10	2										3	4	5	6	7	8										
	11	12	13	14	15	16	17	9										10	11	12	13	14	15										
	18	19	20	21	22	23	24	16										17	18	19	20	21	22										
	25	26	27	28	29	30	31	23										24	25	26	27	28	29										
9月	1	2	3	4	5	6	7	大学院学位記授与式9.25 秋学期入学式9.30								3月	1	2	3	4	5	6	7	大学院学位記授与式3.25									
	8	9	10	11	12	13	14										8	9	10	11	12	13	14										
	15	16	17	18	19	20	21										15	16	17	18	19	20	21										
	22	23	24	25	26	27	28										22	23	24	25	26	27	28										
	29	30															29	30	31														
授業 日数	15	15	16	15	15			15	15	16	15	15		授業 日数	15	15	15	15	15		15	15	15	15	15			15	15	15	15	15	

(注)

- 太字は、国民の祝日に関する法律による休日(振替え休日含む)を示す。
(ただし、天皇誕生日及びその翌日の振替休日、春分の日は予定である)
- 期末試験日は、で示し、試験予備日を で示す。
- 休業及び休講日は で示す。

- 入学式・新入生オリエンテーション・卒業式は で示す。
- 11月5日(火)は、大学行事(学園祭)による臨時休講日。
- 11月27日(水)～11月29日(金)は推薦試験関係で全日臨時休業とする。
- 1月17日(金)及び1月20日(月)の授業はセンター入試の関係で全日臨時休業とする。

專攻概要

教育目標・方針

本専攻は、幅広い視野で造形芸術に関わる知識・実技の専門研究を行い、高度な技術と実地的な応用能力・企画力によって、今日の造形芸術の多様な展開に対応し、グローバル化した社会において指導的役割を果たすことのできる高度専門職業人・研究者を育成・再教育することを目的としています。

履修方法・課程修了要件

〔一般入学者〕

- 1 専攻共通科目のうちから、合計 6 単位以上を履修すること。
なお、「大学院共通科目」を履修した場合は、指導教員と専攻長の承認を得て 2 単位を限度として修了要件の専攻共通科目として認定することができる。
- 2 専門科目のうちから、所属する領域の科目を中心に最も関係の深い科目を選び、所属する領域の特別演習（1 科目 3 単位）及び特別研究（修了研究指導－1 科目 3 単位）を含めて 24 単位以上履修すること。所属する領域名以外の特別演習、特別研究は、専門科目としない。
- 3 所属領域群以外の領域の専門科目、本研究科他専攻の科目、他研究科等の科目は、研究上の必要に応じて、指導教員と専攻長の承認を得て 10 単位を限度として修了要件の専門科目として認定されることがある。
※ 修了研究は、各専門分野の特性に応じて、純粋理論の研究から特定の課題に対する研究成果までを評価する次のいずれかの方法による。
 - a. 論文 b. 作品及び論文 c. 作品及び研究報告書

〔社会人特別選抜入学者〕

- 1 専攻共通科目のうちから、合計 6 単位以上を履修すること。
なお、「大学院共通科目」を履修した場合は、指導教員と専攻長の承認を得て 2 単位を限度として修了要件の専攻共通科目として認定することができる。
- 2 専門科目のうちから、所属する領域の科目を中心に最も関係の深い科目を選び、所属する領域の特別演習（1 科目 3 単位）及び特別研究（修了研究指導（14 条対応）－1 科目 3 単位）を含めて 24 単位以上履修すること。所属する領域名以外の特別演習、特別研究は、専門科目としない。
- 3 所属領域群以外の領域の専門科目、本研究科他専攻の科目、他研究科等の科目は、研究上の必要に応じて、指導教員と専攻長の承認を得て 10 単位を限度として修了要件の専門科目として認定されることがある。
※ 1 修了研究は、各専門分野の特性に応じて、純粋理論の研究から特定の課題に対する研究成果までを評価する次のいずれかの方法による。
 - a. 論文 b. 作品及び論文 c. 作品及び研究報告書
- ※ 2 1 年次に上記の単位数（専攻共通科目 6 単位、専門科目 18 単位、所属する領域の特別演習 1 科目 3 単位）を履修した上で、2 年次に復職し、特別研究（修了研究指導（14 条対応）－1 科目 3 単位）を履修し、修了することもできる。

2019 年度 人間総合科学研究科博士前期課程 芸術専攻 開設授業科目一覧

専攻共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB031	西洋美術史 -1	講義	1.0	1・2				西洋古代美術史上の具体的作例について多面的に講述する。	科目名変更。西暦偶数年度開講。01B9523 と同一。		中・高（美術）高（工芸）
01EB034	西洋美術史 -2	講義	1.0	1・2	春 AB	水 2	寺門 臨太郎	西洋美術史上の具体的作例について多面的に講述する。	科目名変更。西暦奇数年度開講。01B9526 と同一。		中・高（美術）高（工芸）
01EB035	日本美術史	講義	1.0	1・2				日本美術史上の具体的作例について多面的に講述する。	科目名変更。西暦偶数年度開講。01B9532 と同一。		中・高（美術）高（工芸）
01EB039	美術論	講義	1.0	1・2	秋 AB	水 2	林 みちこ	近現代美術を取り上げ、その理論と歴史について講ずる。	西暦奇数年度開講。01B9553 と同一。		中・高（美術）
01EB043	芸術教育論 A-1	講義	1.0	1・2	春 AB	火 4	直江 俊雄	芸術教育批評の方法を講義と演習を通して学び、学校教育における芸術教育実践の理解・解釈・評価と教育方法開発に携わる基礎力を身につける。	西暦奇数年度開講。01B9512 と同一。		中・高（美術）
01EB044	芸術教育論 A-2	講義	1.0	1・2	春 AB	応談	直江 俊雄	芸術教育批評の方法を、学校での実地演習等を通して学び、学校教育における芸術教育実践の理解・解釈・評価と教育方法開発に携わる基礎力を身につける。	西暦奇数年度開講。01B9513 と同一。 芸術教育論 A-1 を合わせて履修すること。		中・高（美術）
01EB047	書論特講 I	講義	1.5	1・2	春 ABC	水 2	菅野 智明	書論に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書論史研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える	教室：芸術学系棟 B539 西暦奇数年度開講。01B9622 と同一。		高（書道）
01EB048	書論特講 II	講義	1.5	1・2	秋 ABC	水 2	菅野 智明	書論に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書論史研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える。	教室：芸術学系棟 B539 西暦奇数年度開講。01B9623 と同一。		高（書道）
01EB049	書鑑賞論特講 I	講義	1.5	1・2				書の鑑賞に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書鑑賞研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える。	教室：芸術学系棟 B539 西暦偶数年度開講。01B9632 と同一。		高（書道）
01EB050	書鑑賞論特講 II	講義	1.5	1・2				書の鑑賞に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書鑑賞研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える。	教室：芸術学系棟 B539 西暦偶数年度開講。01B9633 と同一。		高（書道）
01EB061	構成論特講 I	講義	1.5	1・2	春 ABC	金 2	山本 早里、小野 裕子、上浦 佑太、國安 孝昌、村上 史明、齋藤 敏寿、宮原 克人、鄭 然暉、田中 佐代子、原 忠信、山本 美希	構成分野が擁する諸領域（構成、総合造形、クラフト、ビジュアルデザイン）について各々の担当教員から概説することを通じて、造形諸分野の中での構成の位置付けを明らかにする。	01B9582 と同一。		中・高（美術）高（工芸）
01EB062	構成論特講 II	講義	1.5	1・2	秋 ABC	金 2	山本 早里、小野 裕子、上浦 佑太、國安 孝昌、村上 史明、齋藤 敏寿、宮原 克人、鄭 然暉、田中 佐代子、原 忠信、山本 美希	構成分野が擁する諸領域（構成、総合造形、クラフト、ビジュアルデザイン）について各々の担当教員から概説することを通じて、造形諸分野の中での構成の位置付けを明らかにする。	01B9583 と同一。		中・高（美術）高（工芸）
01EB081	創造的復興：ローカルデザイン特別演習 I	演習	2.0	1	春 AB	金 5, 6	齋藤 敏寿、宮原 克人、原 忠信、村上 史明、鄭 然暉	地域において、地域再生に向けたプランを計画・提案することで、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つながり、突破力を身につけ、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。	平成 27 年度までの「創造的復興特別演習 I」に相当。創造的復興：チャレンジ学外特別演習 I と併せて履修すること。	×	

01EB082	創造的復興： チャレンジ学外特別 演習 I	演習	2.0	1	通年	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暲	地域の課題に対し、地域再生に向けたプランを実施する。その 中で、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興 に必要な視点や方法を経験的に習得し、実践的な創造的復興 力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な 領域の内容を包含する。	平成 27 年度までの「創造的復興特 別学外演習 I」に相当。創造的復興： ローカルデザイン特別演習 I と併せ て履修すること。	×	
01EB084	創造的復興： ローカルデザイン 特別演習 II	演習	2.0	2	春 AB	金 5, 6	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暲	地域において、地域再生に向けたプランを計画・提案すること で、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つな ぐ力、突破力を身につけ、実践的な創造的復興力を養う。アート、 デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。	平成 27 年度までの「創造的復興特 別演習 II」に相当。創造的復興：ロー カルデザイン特別演習 I を履修済 みのこと。創造的復興：ローカルデザ イン特別演習 II と併せて履修する こと。	×	
01EB085	創造的復興： チャレンジ特別学外 演習 II	演習	2.0	2	通年	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暲	地域の課題に対し、地域再生に向けたプランを実施する。その 中で、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興 に必要な視点や方法を経験的に習得し、実践的な創造的復興 力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な 領域の内容を包含する。	平成 27 年度までの「創造的復興特 別学外演習 II」に相当。創造的復興： ローカルデザイン特別演習 II と併 せて履修すること。	×	
01EB086	創造的復興： 国際発表特別学外 演習	演習	2.0	1・2	通年	随時	原 忠信	地域の課題に対し、地域再生に向けたプランを実施する。その 中で、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興 に必要な視点や方法を経験的に習得し、実践的な創造的復興 力を養う。アート、デザイン、工芸などををはじめとした多様な 領域の内容を包含する。	平成 27 年度までの「創造的復興特 別学外演習 II」に相当。創造的復興： ローカルデザイン特別演習 I また は、創造的復興：ローカルデザイン 特別演習 II と併せて履修すること。	×	
01EB063	大学を開くデザイン プロデュース特講・ 演習 A-I	演習	1.5	1・2	春 ABC	応談	渡 和由, 貝島 桃代, 原 忠信, 山田 協太	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達で チームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・ デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	同演習 A-II も合わせて履修するこ とが望ましい。教室は 6A306 の他、 随時教員の指示により他の教室も使 用する。オリエンテーションは、4 月第 3 週の水曜 18:15 より 6A306 で 行う。詳しくは掲示を参照のこと。 西暦奇数年度開講。 01B9603 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB064	大学を開くデザイン プロデュース特講・ 演習 A-II	演習	1.5	1・2	秋 ABC	応談	渡 和由, 貝島 桃代, 原 忠信, 山田 協太	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達で チームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・ デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	同演習 A-I も合わせて履修するこ とが望ましい。教室は 6A306 の他、 随時教員の指示により他の教室も使 用する。オリエンテーションは、4 月第 3 週の水曜 18:15 より 6A306 で 行う。詳しくは掲示を参照のこと。 西暦奇数年度開講。 01B9604 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB065	大学を開くデザイン プロデュース特講・ 演習 B-I	演習	1.5	1・2				複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達で チームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・ デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	同演習 B-II も合わせて履修するこ とが望ましい。教室は 6A306 の他、 随時教員の指示により他の教室も使 用する。オリエンテーションは、4 月第 3 週の水曜 18:15 より 6A306 で 行う。詳しくは掲示を参照のこと。 西暦偶数年度開講。 01B9605 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB066	大学を開くデザイン プロデュース特講・ 演習 B-II	演習	1.5	1・2				複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達で チームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・ デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	同演習 B-I も合わせて履修するこ とが望ましい。教室は 6A306 の他、 随時教員の指示により他の教室も使 用する。オリエンテーションは、4 月第 3 週の水曜 18:15 より 6A306 で 行う。詳しくは掲示を参照のこと。 西暦偶数年度開講。 01B9606 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）

01EB024	デザイン特講 A	講義	1.0	1・2	秋 AB	集中	木村 浩	情報デザインの現状を把握し実践的なデザインを学ぶ。	西暦奇数年度開講。	×	
01EB025	デザイン特講 B	講義	1.0	1・2				プロダクトデザインについての主要なテキストならびに作品を取り上げ、諸問題を検討する。	西暦偶数年度開講。	×	
01EB026	デザイン特講 C	講義	1.0	1・2	秋 AB	集中	渡 和由	環境デザインの主要な事例を取り上げ、実務的観点から諸問題を検討する。	西暦奇数年度開講。	×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB027	デザイン特講 D	講義	1.0	1・2				建築デザインについての主要なテキストならびに作品を取り上げ、諸問題を検討する。	西暦偶数年度開講。	×	中・高（美術） 高（工芸）

専門科目〔芸術学領域群〕【美術史領域】

科目 番号	科目名	授業 方法	単位数	標準 履修 年次	実施 学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考	科目等 履修生 申請可否	専修免許状 免許教科
01EB401	西洋近世美術史特講 I-1	講義	1.0	1・2	春 AB	火 5	寺門 臨太郎	西洋近世美術史における特定課題に関する講義。西ヨーロッパ近世の作品を多面的に分析し講述する。	西暦奇数年度開講。 01B9740 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB402	西洋近世美術史特講 I-2	講義	1.0	1・2	秋 AB	火 5	寺門 臨太郎	西洋近世美術史における特定課題に関する講義。西ヨーロッパ近世の作品を多面的に分析し講述する。	西暦奇数年度開講。 01B9743 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB403	西洋近世美術史特講 II-1	講義	1.0	1・2				西洋近世美術史における特定課題に関する講義。西ヨーロッパ近世の作品を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。 01B9744 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB404	西洋近世美術史特講 II-2	講義	1.0	1・2				西洋近世美術史における特定課題に関する講義。西ヨーロッパ近世の作品を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。 01B9745 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB405	西洋近世美術史演習 I-1	演習	1.0	1・2	春 AB	火 6	寺門 臨太郎	西洋近世美術史における特定課題に関する演習。西ヨーロッパ近世の美術を多面的に考察する。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB406	西洋近世美術史演習 I-2	演習	1.0	1・2	秋 AB	火 6	寺門 臨太郎	西洋近世美術史における特定課題に関する演習。西ヨーロッパ近世の美術を多面的に考察する。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB407	西洋近世美術史演習 II-1	演習	1.0	1・2				西洋近世美術史における特定課題に関する演習。西ヨーロッパ近世の美術を多面的に考察する。	西暦偶数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB408	西洋近世美術史演習 II-2	演習	1.0	1・2				西洋近世美術史における特定課題に関する演習。西ヨーロッパ近世の美術を多面的に考察する。	西暦偶数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB409	近・現代美術論特講 I-1	講義	1.0	1・2	春 AB	木 3	林 みちこ	近・現代美術論における特定課題に関する講義。日本および西洋の近・現代美術を多面的に分析し講述する。	西暦奇数年度開講。 01B9748 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB410	近・現代美術論特講 I-2	講義	1.0	1・2	秋 AB	木 3	林 みちこ	近・現代美術論における特定課題に関する講義。日本および西洋の近・現代美術を多面的に分析し講述する。	西暦奇数年度開講。 01B9749 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB411	近・現代美術論特講 II-1	講義	1.0	1・2				近・現代美術論における特定課題に関する講義。日本および西洋の近・現代美術を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。 01B9750 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB412	近・現代美術論特講 II-2	講義	1.0	1・2				近・現代美術論における特定課題に関する講義。日本および西洋の近・現代美術を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。 01B9753 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB413	近・現代美術論演習 I-1	演習	1.0	1・2	春 AB	木 4	林 みちこ	近・現代美術論における特定課題に関する講義。日本および西洋の近・現代美術を多面的に分析し講述する。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB414	近・現代美術論演習 I-2	演習	1.0	1・2	秋 AB	木 4	林 みちこ	近・現代美術論における特定課題に関する講義。日本および西洋の近・現代美術を多面的に分析し講述する。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB415	近・現代美術論演習 II-1	演習	1.0	1・2				近・現代美術論における特定課題に関する講義。日本および西洋の近・現代美術を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB416	近・現代美術論演習 II-2	演習	1.0	1・2				近・現代美術論における特定課題に関する講義。日本および西洋の近・現代美術を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB417	西洋古代美術史特講 I-1	講義	1.0	1・2	春 AB	火 3	長田 年弘	西洋古代美術史における特定課題に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。	西暦奇数年度開講。 01B9754 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB418	西洋古代美術史特講 I-2	講義	1.0	1・2	秋 AB	火 3	長田 年弘	西洋古代美術史における特定課題に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。	西暦奇数年度開講。 01B9755 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB419	西洋古代美術史特講 II-1	講義	1.0	1・2				西洋古代美術史における特定課題に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。 01B9758 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB420	西洋古代美術史特講 II-2	講義	1.0	1・2				西洋古代美術史における特定課題に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。 01B9759 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）

01EB421	西洋古代美術史演習 I-1	演習	1.0	1・2	春 AB	火 4	長田 年弘	西洋古代美術史における特定課題に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB422	西洋古代美術史演習 I-2	演習	1.0	1・2	秋 AB	火 4	長田 年弘	西洋古代美術史における特定課題に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB423	西洋古代美術史演習 II-1	演習	1.0	1・2				西洋古代美術史における特定課題に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。	西暦偶数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB424	西洋古代美術史演習 II-2	演習	1.0	1・2				西洋古代美術史における特定課題に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。	西暦偶数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB425	日本美術史特講 I-1	講義	1.0	1・2	春 AB	木 5	水野 裕史	日本美術史における特定課題に関する講義。日本近世の作品を多面的に分析し講述する。	西暦奇数年度開講。 01B9760 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB426	日本美術史特講 I-2	講義	1.0	1・2	秋 AB	木 5	水野 裕史	日本美術史における特定課題に関する講義。日本近世の作品を多面的に分析し講述する。	西暦奇数年度開講。 01B9763 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB427	日本美術史特講 II-1	講義	1.0	1・2				日本美術史における特定課題に関する講義。日本近世の作品を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。 01B9764 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB428	日本美術史特講 II-2	講義	1.0	1・2				日本美術史における特定課題に関する講義。日本近世の作品を多面的に分析し講述する。	西暦偶数年度開講。 01B9765 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB429	日本美術史演習 I-1	演習	1.0	1・2	春 AB	木 6	水野 裕史	日本美術史における特定課題に関する演習。日本近世の美術を多面的に考察する。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB430	日本美術史演習 I-2	演習	1.0	1・2	秋 AB	木 6	水野 裕史	日本美術史における特定課題に関する演習。日本近世の美術を多面的に考察する。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB431	日本美術史演習 II-1	演習	1.0	1・2				日本美術史における特定課題に関する演習。日本近世の美術を多面的に考察する。	西暦偶数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB432	日本美術史演習 II-2	演習	1.0	1・2				日本美術史における特定課題に関する演習。日本近世の美術を多面的に考察する。	西暦偶数年度開講。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB441	美術史学外演習 I	演習	1.5	1	通年	随時	長田 年弘、寺門 臨太郎、林 みちこ、水野 裕史	学外訪問先における調査演習。美術作品や歴史的建築物を実地で観察し、美術史研究のブラクティカルな研究方法を演習する。		×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB442	美術史学外演習 II	演習	1.5	2	通年	随時	長田 年弘、寺門 臨太郎、林 みちこ、水野 裕史	学外訪問先における調査演習。美術作品や歴史的建築物を実地で観察し、美術史研究のブラクティカルな研究方法を演習する。		×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB122	美術史領域特別演習	演習	3.0	1	通年	応談	長田 年弘、寺門 臨太郎、林 みちこ、水野 裕史	修士論文作成を視野に入れた美術史の特定課題に関する演習。		×	
01EB301	美術史領域特別研究	演習	3.0	2	通年	応談	長田 年弘、寺門 臨太郎、林 みちこ、水野 裕史	美術史における特定課題に関する特別研究。	14 条対応	×	

専門科目〔芸術学領域群〕【芸術支援領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状 免許教科
01EB465	芸術支援学特講 -1	講義	1.0	1・2	春 AB	火 1	大久保 範子	芸術支援の理論と実践に関し、特定の研究課題に基づいて講ずる。	西暦奇数年度開講。 01B9737 と同一。		中・高（美術）
01EB466	芸術支援学特講 -2	講義	1.0	1・2	秋 AB	火 1	大久保 範子	芸術支援の理論と実践に関し、特定の研究課題に基づいて講ずる。	西暦奇数年度開講。 01B9738 と同一。		中・高（美術）
01EB467	芸術支援学演習 -1	演習	1.0	1・2	春 AB	火 2	大久保 範子	芸術支援の理論と実践に関し、特定の研究課題に基づいて演習を行う。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術）
01EB468	芸術支援学演習 -2	演習	1.0	1・2	秋 AB	火 2	大久保 範子	芸術支援の理論と実践に関し、特定の研究課題に基づいて演習を行う。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術）
01EB135	芸術支援学学外演習 I	演習	1.5	1	通年	随時	石崎 和宏、直江 俊雄、大久保 範子	芸術支援活動の現場（美術館、美術ギャラリー、市民芸術村、野外現代美術展会場、画廊、美術品修復施設等）での見学を通じ、芸術支援活動の企画運営を実地に学ぶ。		×	中・高（美術）
01EB479	芸術学習支援論 A	講義	2.0	1・2				ビジュアル・シンキング・ストラテジーの理論と方法について学び、美術館等において学習活動を支援する基礎力を身につける。	西暦偶数年度開講。 01B9567 と同一。		中・高（美術）
01EB480	芸術学習支援論 B	講義	2.0	1・2	通年	随時	直江 俊雄	ビジュアル・シンキング・ストラテジーについて演習を中心に学び、芸術学習支援活動を企画運営するための基礎力を養う。	西暦奇数年度開講。 01B9568 と同一。		中・高（美術）

01EB481	芸術支援学外演習Ⅰ	演習	1.5	2	通年	随時	石崎 和宏、直江 俊雄、大久保 範子	芸術支援活動の現場（美術館、美術ギャラリー、市民芸術村、野外現代美術展会場、画廊、美術品修復施設等）での見学を通じ、芸術支援活動の企画運営を実地に学ぶ。		×	中・高（美術）
01EB482	芸術支援ワークショップⅠ	演習	1.0	1	通年	随時	直江 俊雄	芸術支援に関するワークショップ	西暦奇数年度開講。	×	中・高（美術）
01EB483	芸術支援ワークショップⅡ	演習	1.0	2	通年	随時	直江 俊雄	芸術支援に関するワークショップ	西暦奇数年度開講。	×	中・高（美術）
01EB484	芸術教育方法論 A-1	講義	1.0	1・2				芸術教育方法の観点から幅広く考察を行う。	平成 27 年度までの「芸術教育方法論 A」に相当 西暦偶数年度開講。 01B9506 と同一。		中・高（美術）
01EB485	芸術教育方法論 A-2	講義	1.0	1・2				芸術教育方法の観点から幅広く考察を行う。	平成 27 年度までの「芸術教育方法論 A」に相当 西暦偶数年度開講。 01B9507 と同一。		中・高（美術）
01EB486	芸術教育方法論 B-1	講義	1.0	1・2	春 AB	木 4	直江 俊雄	芸術教育の方法に関する研究例を出発点に、主要な研究動向やさまざまなアプローチについて調査・検討し、各自の研究方法確立へ向けての基礎力を養う。	平成 28 年度までの「芸術教育方法論 B」に相当 西暦奇数年度開講。 01B9508 と同一。		中・高（美術）
01EB487	芸術教育方法論 B-2	講義	1.0	1.2	秋 AB	木 4	直江 俊雄	芸術教育の方法に関する研究例を出発点に、主要な研究動向やさまざまなアプローチについて調査・検討し、各自の研究方法確立へ向けての基礎力を養う。	平成 28 年度までの「芸術教育方法論 B」に相当 西暦奇数年度開講。 01B9509 と同一。		中・高（美術）
01EB489	芸術科教育特論 A	講義	1.0	1.2				芸術教育に関する基本文献を講読して今日的な課題を概観し、その問題解決のための柔軟なアイデアとアプローチを複眼的に検討する。	西暦偶数年度開講。 01B9502 と同一。		
01EB490	芸術科教育特論 B	講義	1.0	1.2				現代の芸術教育研究におけるアート・ベースト・リサーチ (Art-Based Research) による探求に注目し、事例をあげながらその方法論についての理解を深め、各受講者の研究テーマと関連した活用可能性と課題について議論する。	西暦偶数年度開講。 01B9503 と同一。		
01EB491	芸術科教育実践演習 A	演習	1.0	1.2	春 AB	水 3	石崎 和宏	芸術教育の今日的な課題について、茨城県内で実施する具体的なプロジェクトの企画と運営を通して体験的に学ぶとともに、実践現場におけるデータ収集の方法について講じる。	西暦奇数年度開講。 01B9504 と同一。		
01EB492	芸術科教育実践演習 B	演習	1.0	1.2	秋 ABC	水 3 集中	笠原 広一、石崎 和宏	美術教育実践における今日的な課題を解決するために、どのように問題や対象を明確化し、その問題の背景にある要因を分析し、問題解決のための理論モデルを生成するのかについて議論する。	西暦奇数年度開講。 01B9505 と同一。		
01EB493	芸術鑑賞論 A-1	講義	1.0	1.2				芸術鑑賞での解釈や意味生成においてメタファーがどのように関与するのかという問いをめぐって、視覚的メタファー (visual metaphors) の機能や課題について考察する。美術作品やポップカルチャーの事例を検討しながら、視覚的メタファーの特質を理解し、鑑賞における意味生成についての議論を深める。	教室：芸術 B234 西暦偶数年度開講。 01B9573 と同一。		
01EB494	芸術鑑賞論 A-2	講義	1.0	1.2				人々は芸術作品をどのように理解するのか、その問いにかかわる先行研究を概観し、芸術鑑賞教育に関する基礎的な知見を検討し、それらの知見を活用した学習方略について考察する。	教室：芸術 B234 西暦偶数年度開講。 01B9574 と同一。		
01EB495	芸術鑑賞論 B-1	講義	1.0	1.2	秋 AB	火 3	石崎 和宏、王 文純	芸術鑑賞に関わる先行研究をレビューし、その知見を発展させた鑑賞教育の視点と具体的方策を検討する。	西暦奇数年度開講。 01B9575 と同一。		
01EB496	芸術鑑賞論 B-2	講義	1.0	1.2	春 AB	火 3	石崎 和宏	芸術鑑賞教育研究に関わる先行研究をレビューし、それらの知見や具体的な研究方法を考察し、鑑賞教育研究の方法論について全般的に理解する。そして、各自の研究における独自の調査方法をそれぞれが開発する。	西暦奇数年度開講。 01B9576 と同一。		

01EB146	芸術支援領域 特別演習	演習	3.0	1	通年	応談	直江 俊雄, 石崎 和宏, 大久保 範子	芸術支援領域に関する特別演習を行う。		×	
01EB302	芸術支援領域 特別研究	演習	3.0	2	通年	応談	直江 俊雄, 石崎 和宏, 大久保 範子	論文作成について、受講者が設定したテーマに即して指導する。 明解な論理と独自性のある主張を備えた論文の実現を目指す。	14 条対応	×	
	芸術支援ワークショップ III	演習	1.0	1・2	通年	随時	直江 俊雄	芸術支援に関するワークショップ	西暦奇数年度開講。		
	芸術学習支援演習 A	演習	2.0	1・2				ビジュアル・シンキング・ストラテジーの高度な実践とコーチングの方法を学ぶ。	西暦偶数年度開講。		
	芸術学習支援演習 B	演習	2.0	1・2	通年	随時	直江 俊雄	ビジュアル・シンキング・ストラテジーの高度な実践とコーチングの方法を学ぶ。	西暦奇数年度開講。		

専門科目〔芸術学領域群〕【洋画領域】

科目 番号	科目名	授業 方法	単位数	標準 履修 年次	実施 学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等 履修生 申請可否	専修免許状 免許教科
01EB201	洋画技法論特講	講義	2.0	1・2	春 AB 秋 AB	木 1	内藤 定壽, 仏山 輝美, 田島 直樹, 福満 正志郎, 星 美加	油彩画・版画における技法・構想について、分析、論述する。	01B9771 と同一。		中・高（美術）
01EB202	西洋美術技法演習	演習	6.0	1・2	通年	木 4, 5	内藤 定壽, 仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加	制作へのプロセスとして考えられる技法について、複数教員による技法指導、研究実験を行い、洋画の技法に関する理解と習熟を図る。		×	中・高（美術）
01EB801	洋画制作 A-1	実習	1.5	1	春 ABC	月 4, 5	内藤 定壽	人体および選択されたモチーフによる絵画制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に素材や技法について、個別に指導する。学外で作品発表を行う。		×	中・高（美術）
01EB802	洋画制作 A-2	実習	1.5	1	秋 ABC	月 4, 5	内藤 定壽	人体および選択されたモチーフによる絵画制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に素材や技法について、個別に指導する。学外で作品発表を行う。	洋画制作 A-1 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）
01EB803	洋画制作 B-1	実習	1.5	1	春 ABC	火 2, 3	仏山 輝美	人体および選択されたモチーフによる絵画制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に色彩について、個別に指導する。		×	中・高（美術）
01EB804	洋画制作 B-2	実習	1.5	1	秋 ABC	火 2, 3	仏山 輝美	人体および選択されたモチーフによる絵画制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に色彩について、個別に指導する。	洋画制作 B-2 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）
01EB805	洋画制作 C-1	実習	1.5	1	春 ABC	木 2, 3	福満 正志郎	人体及び選択されたモチーフによる油絵制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に制作上の構想について、個別に指導する。		×	中・高（美術）
01EB806	洋画制作 C-2	実習	1.5	1	秋 ABC	木 2, 3	福満 正志郎	人体及び選択されたモチーフによる油絵制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に制作上の構想について、個別に指導する。	洋画制作 C-1 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）
01EB807	洋画制作 D-1	実習	1.5	1	春 ABC	金 2, 3	星 美加	人体および選択されたモチーフによる油絵制作を行う。特に形態について、個別に指導する。		×	中・高（美術）
01EB808	洋画制作 D-2	実習	1.5	1	秋 ABC	金 2, 3	星 美加	人体および選択されたモチーフによる油絵制作を行う。特に形態について、個別に指導する。	洋画制作 D-1 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）
01EB809	洋画特別制作 A-1	実習	1.5	2	春 ABC	月 2, 3	仏山 輝美	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、テーマに沿って素材・技法について最も適したものを選択する。学外で作品発表を行う。		×	中・高（美術）
01EB810	洋画特別制作 A-2	実習	1.5	2	秋 ABC	月 2, 3	仏山 輝美	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、テーマに沿って素材・技法について最も適したものを選択する。学外で作品発表を行う。	洋画特別制作 A-1 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）
01EB811	洋画特別制作 B-1	実習	1.5	2	春 ABC	火 2, 3	星 美加	個別に設定されたテーマによってモチーフを選択し、特に形態について独自の表現を追及する制作研究を行う。		×	中・高（美術）
01EB812	洋画特別制作 B-2	実習	1.5	2	秋 ABC	火 2, 3	星 美加	個別に設定されたテーマによってモチーフを選択し、特に形態について独自の表現を追及する制作研究を行う。	洋画特別制作 B-1 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）

01EB813	洋画特別制作 C-1	実習	1.5	2	春 ABC	木 4.5	福満 正志郎	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、構想についてテーマを良く表現するためにどのようにイメージを展開するのかを追求する。		×	中・高（美術）
01EB814	洋画特別制作 C-2	実習	1.5	2	秋 ABC	木 4.5	福満 正志郎	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、構想についてテーマを良く表現するためにどのようにイメージを展開するのかを追求する。	洋画特別制作 C-1 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）
01EB815	洋画特別制作 D-1	実習	1.5	2	春 ABC	金 4.5	内藤 定壽	個別に設定されたテーマによってモチーフを選択し、色彩についてテーマをより良く表現する計画と手段を追求する。		×	中・高（美術）
01EB816	洋画特別制作 D-2	実習	1.5	2	秋 ABC	金 4.5	内藤 定壽	個別に設定されたテーマによってモチーフを選択し、色彩についてテーマをより良く表現する計画と手段を追求する。	洋画特別制作 D-1 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）
01EB224	洋画野外風景実習	実習	1.0	1・2	春 AB	随時	内藤 定壽、仏山 輝美、福満 正志郎、星 美加	風景画について、一週間の野外実習を通して洋画制作を行い、個別に指導する。		×	中・高（美術）
01EB211	洋画領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	内藤 定壽、仏山 輝美、福満 正志郎、星 美加	各自の設定したテーマについて、個別に洋画の演習を行う。		×	
01EB303	洋画領域特別研究	演習	3.0	2	通年	随時	内藤 定壽、仏山 輝美、田島 直樹、福満 正志郎、星 美加	各自の設定したテーマに基づき、洋画の修了研究の指導を行う。	14 条対応	×	
01EB831	版画制作 A-1	実習	1.5	1・2	春 ABC	金 2.3	田島 直樹	版画の技法研究を実際の制作を通して行い、その特徴、性質を把握し、今後の作品制作に活かす。また、指導者養成の目的を含め、技術修得に努める。		×	中・高（美術）
01EB832	版画制作 A-2	実習	1.5	1・2	秋 ABC	金 2.3	田島 直樹	版画の技法研究を実際の制作を通して行い、その特徴、性質を把握し、今後の作品制作に活かす。また、指導者養成の目的を含め、技術修得に努める。	版画制作 A-1 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）
01EB833	版画制作 B-1	実習	1.5	1・2	春 ABC	金 4.5	田島 直樹	専門とする版種に関する作家、作品、技法について調査、研究、及び実験制作を通して自己の制作に活かす。		×	中・高（美術）
01EB834	版画制作 B-2	実習	1.5	1・2	秋 ABC	金 4.5	田島 直樹	専門とする版種に関する作家、作品、技法について調査、研究、及び実験制作を通して自己の制作に活かす。	版画制作 B-1 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）
01EB835	版画特別制作 -1	実習	1.5	2	春 ABC	木 4.5	田島 直樹	個別に設定されたテーマによって版種を選び、版画の制作実験研究を試みる。学外で作品の発表を行う。		×	中・高（美術）
01EB836	版画特別制作 -2	実習	1.5	2	秋 ABC	木 4.5	田島 直樹	個別に設定されたテーマによって版種を選び、版画の制作実験研究を試みる。学外で作品の発表を行う。	版画特別制作 -1 を履修済みのこと。	×	中・高（美術）
01EB225	平版演習	演習	4.0	1・2	通年	随時	田島 直樹	アルミ板を使用した平版のあらゆる技法について演習し、表現の深まりを期する。	西暦偶数年度開講。	×	中・高（美術）
01EB226	版画領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	田島 直樹	各自の設定したテーマについて、個別に版画の演習を行う。		×	

専門科目〔芸術学領域群〕【日本画領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB241	日本画表現技法・材料特講	講義	2.0	1	通年	随時	太田 圭、程塚 敏明、山本 浩之	日本絵画の古典作品を鑑賞し、日本画表現における諸技法および諸材料について、制作者の眼と感性で読み取る。			中・高（美術）
01EB841	日本美術技法演習 -1	演習	1.5	1・2	春 ABC	木 2	山本 浩之	古典、中世、近代の作品・模写を通して、専門的素材の用法及び材料使用にともなう種々の技法について演習を行う。		×	中・高（美術）
01EB842	日本美術技法演習 -2	演習	1.5	1・2	秋 ABC	木 2	山本 浩之	古典、中世、近代の作品・模写を通して、専門的素材の用法及び材料使用にともなう種々の技法について演習を行う。	日本美術技法演習 -1 を履修済であること。	×	中・高（美術）
01EB843	日本美術特別技法演習 -1	演習	1.5	1・2	春 ABC	木 3	山本 浩之	古典、中世、近代の作品・模写を通して、専門的素材の用法及び材料使用にともなう種々の技法について、さらに理解を深め、技術を修得する。	01B9777 と同一。	×	中・高（美術）
01EB844	日本美術特別技法演習 -2	演習	1.5	1・2	秋 ABC	木 3	山本 浩之	古典、中世、近代の作品・模写を通して、専門的素材の用法及び材料使用にともなう種々の技法について、さらに理解を深め、技術を修得する。	日本美術特別技法演習 -1 を履修済であること。 01B9778 と同一。	×	中・高（美術）
01EB845	日本画制作 A-1	実習	1.5	1	春 ABC	月 4.5	程塚 敏明	専門的な技術を基礎とし、人体モデルに対処しながら、自己表現の習熟を目的とする創作的内容をもった制作研究を行う。	教室 : 5C306	×	中・高（美術）

01EB846	日本画制作 A-2	実習	1.5	1	秋 ABC	月 4, 5	程塚 敏明	専門的な技術を基礎とし、人体モデルに対処しながら、自己表現の習熟を目的とする創作的内容をもった制作研究を行う。	日本画制作 A-1 を履修済であること。教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB847	日本画制作 B-1	実習	1.5	1	春 ABC	火 2, 3	山本 浩之	専門的な技術を基礎とし、与えられたテーマに対処しながら、日本画の様式に沿った制作研究を行う。	教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB848	日本画制作 B-2	実習	1.5	1	秋 ABC	火 2, 3	山本 浩之	専門的な技術を基礎とし、与えられたテーマに対処しながら、日本画の様式に沿った制作研究を行う。	日本画制作 B-1 を履修済であること。教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB849	日本画制作 C-1	実習	1.5	1	春 ABC	木 4, 5	程塚 敏明	専門的な技術を基礎とし、与えられたテーマに対処しながら、創作的内容をもった技術研究を行う。	教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB850	日本画制作 C-2	実習	1.5	1	秋 ABC	木 4, 5	程塚 敏明	専門的な技術を基礎とし、与えられたテーマに対処しながら、創作的内容をもった技術研究を行う。	日本画制作 C-1 を履修済であること。教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB851	日本画制作 D-1	実習	1.5	1	春 ABC	金 2, 3	太田 圭	日本画制作を通し、新しい表現の可能性を追求しながら制作研究を行い、将来への展望をはかる。	教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB852	日本画制作 D-2	実習	1.5	1	秋 ABC	金 2, 3	太田 圭	日本画制作を通し、新しい表現の可能性を追求しながら制作研究を行い、将来への展望をはかる。	日本画制作 D-1 を履修済であること。教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB853	日本画特別制作 A-1	実習	1.5	2	春 ABC	月 2, 3	太田 圭	個別にテーマを設定し、日本画による自己表現の確立をはかり、学外で作品の発表を行う。	教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB854	日本画特別制作 A-2	実習	1.5	2	秋 ABC	月 2, 3	太田 圭	個別にテーマを設定し、日本画による自己表現の確立をはかり、学外で作品の発表を行う。	日本画特別制作 A-1 を履修済であること。教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB855	日本画特別制作 B-1	実習	1.5	2	春 ABC	火 4, 5	山本 浩之	基礎技法をマスターし、更に新しい表現技術の研究と自己のテーマをより広く発展させる為に、積極的に内部の開発に取り組む。	教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB856	日本画特別制作 B-2	実習	1.5	2	秋 ABC	火 4, 5	山本 浩之	基礎技法をマスターし、更に新しい表現技術の研究と自己のテーマをより広く発展させる為に、積極的に内部の開発に取り組む。	日本画特別制作 B-1 を履修済であること。教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB857	日本画特別制作 C-1	実習	1.5	2	春 ABC	木 2, 3	程塚 敏明	自己の内部表現の為の技法と材料の必然性や絵画思想、問題意識の理論的發展を高める。	教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB858	日本画特別制作 C-2	実習	1.5	2	秋 ABC	木 2, 3	程塚 敏明	自己の内部表現の為の技法と材料の必然性や絵画思想、問題意識の理論的發展を高める。	日本画特別制作 C-1 を履修済であること。教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB859	日本画特別制作 D-1	実習	1.5	2	春 ABC	金 4, 5	太田 圭	日本画による表現の多様性をふまえて各自のテーマを設定し、制作研究を行うと同時に客観的な視野に立ち、自分の作品の分析研究を行う。	教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB860	日本画特別制作 D-2	実習	1.5	2	秋 ABC	金 4, 5	太田 圭	日本画による表現の多様性をふまえて各自のテーマを設定し、制作研究を行うと同時に客観的な視野に立ち、自分の作品の分析研究を行う。	日本画特別制作 D-1 を履修済であること。教室 :5C306	×	中・高（美術）
01EB251	日本画野外風景実習	実習	1.0	1・2	春 AB	随時	太田 圭、程塚 敏明、山本 浩之	風景画について、一週間の野外実習を通して制作実技研究を行い、個別に指導する。		×	中・高（美術）
01EB252	日本画領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	太田 圭、程塚 敏明、山本 浩之	個々の研究領域に応じたテーマに則り、表現における理論と実践を試み、作品制作を行う。		×	
01EB304	日本画領域特別研究	演習	3.0	2	通年	随時	太田 圭、程塚 敏明、山本 浩之	各自の設定したテーマに基づき、日本画の修了研究を行う。	14 条対応	×	

専門科目〔芸術学領域群〕【彫塑領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB871	彫塑技法論特講 -1	講義	1.0	1・2	春 AB	木 1	宮坂 慎司、大原 央聡	彫塑の表現方法について、歴史的、理論的に分析を行う。	原則として彫塑領域の学生に限る。原則として「彫塑技法論特講 -2」とあわせて履修すること。2019 年度限り。		中・高（美術）
01EB872	彫塑技法論特講 -2	講義	1.0	1・2	秋 AB	木 1	宮坂 慎司、大原 央聡	彫塑の表現方法について、歴史的、理論的に分析を行う。	原則として彫塑領域の学生に限る。彫塑技法論特講 -1 を履修した者。2019 年度限り。		中・高（美術）
01EB263	彫塑学外演習	演習	1.0	1・2	通年	随時	大原 央聡、宮坂 慎司	各自のテーマに基づき、実地研修を行う。	彫塑領域の学生に限る。	×	中・高（美術）
01EB875	塑造制作 A-1	実習	1.5	1・2	春 ABC	金 2, 3	宮坂 慎司	裸婦モデルによる塑造制作を行い、立体表現の感覚を養う。	彫塑領域の学生に限る。原則として「塑造制作 A-2」とあわせて履修すること。2019 年度限り。	×	中・高（美術）

01EB876	塑造制作 A-2	実習	1.5	1・2	秋 ABC	金 2,3	宮坂 慎司	裸婦モデルによる塑造制作を行い、立体表現の感覚を養う。	彫塑領域の学生に限る。塑造制作 A-1 を履修した者。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB877	塑造制作 B-1	実習	1.5	1・2	春 ABC	木 2,3	大原 央聡、宮坂 慎司	裸婦モデルによる塑造制作を行い、立体表現の感覚を養う。	彫塑領域の学生に限る。原則として「塑造制作 B-2」とあわせて履修すること。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB878	塑造制作 B-2	実習	1.5	1・2	秋 ABC	木 2,3	大原 央聡、宮坂 慎司	裸婦モデルによる塑造制作を行い、立体表現の感覚を養う。	彫塑領域の学生に限る。塑造制作 B-1 を履修した者。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB879	彫刻制作 A-1	実習	1.5	1・2	春 ABC	木 5,6	大原 央聡	クス材等の丸太や木材を用いて木彫制作を行う。	原則として「彫刻制作 A-2」とあわせて履修すること。原則として彫塑領域の学生に限る。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB880	彫刻制作 A-2	実習	1.5	1・2	秋 ABC	木 5,6	大原 央聡	クス材等の丸太や木材を用いて木彫制作を行う。	彫塑領域の学生に限る。原則として彫刻制作 A-1 を履修していること。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB881	彫刻制作 B-1	実習	1.5	1・2	春 ABC	金 4,5	宮坂 慎司、大原 央聡	石が保有する彫刻的な特質を活かして、創造的な立体表現力を高める。	原則として彫塑領域の学生に限る。原則として「彫刻制作 B-2」とあわせて履修すること。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB882	彫刻制作 B-2	実習	1.5	1・2	秋 ABC	金 4,5 集中	宮坂 慎司、大原 央聡	石が保有する彫刻的な特質を活かして、創造的な立体表現力を高める。	原則として彫塑領域の学生に限る。彫刻制作 B-1 を履修した者。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB883	金属彫刻制作 -1	実習	1.5	1・2	春 ABC	火 2,3	大原 央聡、宮坂 慎司	鋳造・溶接等の金属処理を駆使して、実験的で創造的な彫塑の制作研究を行う。	原則として彫塑領域の学生に限る。原則として「金属彫刻制作 -2」とあわせて履修すること。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB884	金属彫刻制作 -2	実習	1.5	1・2	秋 ABC	火 2,3	大原 央聡、宮坂 慎司	鋳造・溶接等の金属処理を駆使して、実験的で創造的な彫塑の制作研究を行う。	原則として彫塑領域の学生に限る。金属彫刻制作 -1 を履修した者。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB885	テラコッタ制作	実習	1.5	1・2	春 ABC	火 4,5	大原 央聡、宮坂 慎司	独自の素材と技法を有するテラコッタ（陶造形）技法を用いて立体造形を行う。	原則として彫塑領域の学生に限る。01B9782 と同一。	×	中・高（美術）
01EB270	彫塑特別制作 A	実習	1.0	2	春 AB	月 2,3	大原 央聡、宮坂 慎司	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作研究を行う。	彫塑領域の学生に限る。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB271	彫塑特別制作 B	実習	1.0	2	春 AB	火 4,5	大原 央聡、宮坂 慎司	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作研究を行う。	彫塑領域の学生に限る。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB272	彫塑特別制作 C	実習	1.0	2	春 AB	水 2,3	大原 央聡、宮坂 慎司	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作研究を行う。	彫塑領域の学生に限る。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB273	彫塑特別制作 D	実習	1.0	2	春 AB	木 2,3	大原 央聡、宮坂 慎司	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作研究を行う。	彫塑領域の学生に限る。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB274	彫塑特別制作 E	実習	1.0	2	春 AB	木 4,5	大原 央聡	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作研究を行う。	彫塑領域の学生に限る。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB275	彫塑特別制作 F	実習	1.0	2	春 AB	金 2,3	大原 央聡、宮坂 慎司	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作研究を行う。	彫塑領域の学生に限る。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB276	彫塑特別制作 G	実習	1.0	2	春 AB	金 4,5	大原 央聡、宮坂 慎司	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作研究を行う。	彫塑領域の学生に限る。2019 年度限り。	×	中・高（美術）
01EB277	彫塑領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	大原 央聡、宮坂 慎司	各自の設定したテーマに基づき、修了研究に向けての彫塑の演習を行う。	彫塑領域の学生に限る。2019 年度限り。	×	
01EB305	彫塑領域特別研究	演習	3.0	2	通年	随時	大原 央聡、宮坂 慎司	各自の設定したテーマに基づき、彫塑の修了研究を行う。	14 条対応 彫塑領域の学生に限る。2019 年度限り。	×	

専門科目〔芸術学領域群〕【書領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB282	行・草漢字制作	実習	3.0	1・2	通年	木 4,5	菅野 智明	行書・草書における代表的な古典の臨書を通して、当該書体の技法に習熟するとともに、做書を中心とした創作を試みる。	西暦奇数年度開講。 01B9791 と同一。	×	高（書道）

01EB281	隷・楷漢字制作	実習	3.0	1・2				隷書・楷書における代表的な古典の臨書を通して、当該書体の技法に習熟するとともに、倣書を中心とした創作を試みる。	西暦偶数年度開講。 01B9786 と同一。	×	高（書道）
01EB283	古文字書法 A	実習	3.0	1・2	通年	火 5, 6	中村 伸夫	中国古代の文字資料を書法の観点から整理し、いくつかの遺品を実地に模写・臨書することを通して、その分析を深め、漢字書法習得のための一助とする。	西暦奇数年度開講。 01B9796 と同一。	×	高（書道）
01EB284	古文字書法 B	実習	3.0	1・2				中国古代の文字資料を書法の観点から整理し、いくつかの遺品を実地に模写・臨書することを通して、その分析を深め、漢字書法習得のための一助とする。	西暦偶数年度開講。 01B9797 と同一。	×	高（書道）
01EB285	仮名制作 A	実習	3.0	1・2	通年	金 1, 4	森岡 隆	古筆を基調とした制作方法を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦奇数年度開講。 01B9801 と同一。	×	高（書道）
01EB286	仮名制作 B	実習	3.0	1・2				古筆を基調とした制作方法を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦偶数年度開講。 01B9806 と同一。	×	高（書道）
01EB891	書学外演習 A	演習	1.5	1・2	通年	随時	中村 伸夫、森岡 隆、菅野 智明	博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象 西暦奇数年度開講。 01B9812 と同一。	×	高（書道）
01EB892	書学外演習 B	演習	1.5	1・2				博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める	書領域対象 西暦偶数年度開講。 01B9813 と同一。	×	高（書道）
01EB288	書領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	中村 伸夫、森岡 隆、菅野 智明	各自の設定したテーマについて、個別に演習を行う。		×	
01EB306	書領域特別研究	演習	3.0	2	通年	随時	中村 伸夫、森岡 隆、菅野 智明	各自の設定したテーマに基づき、書の修了研究を行う。	14 条対応	×	

専門科目〔デザイン学領域群〕【構成領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB510	平面・立体構成論特講	講義	1.5	1・2	春 ABC	木 5	上浦 佑太	様々な分野の造形表現を対象に、色・形・素材等の基本要素に着目しつつ、設置空間や制作意図との整合性を構成学的視座から読み解く。			中・高（美術） 高（工芸）
01EB511	平面・立体構成演習	演習	1.5	1・2	秋 ABC	木 5	上浦 佑太	作り方や見え方の原理そのものに着目した表現の開拓を試みる。一定の物理的制約のもとで作品を制作し、年度末の展示で成果を公開する。			中・高（美術） 高（工芸）
01EB512	色彩計画論特講	講義	1.5	1・2	春 ABC	水 3	山本 早里	デザイン分野における色彩計画には、感性だけでなく科学的な知見に基づく客観性が求められる。本講義では色彩計画を行うための諸理論を講ずる。			中・高（美術） 高（工芸）
01EB513	色彩計画演習	演習	1.5	1・2	秋 ABC	水 3	山本 早里	デザイン分野における色彩計画に主眼をおいた演習。調査・設計・評価などを含めた色彩計画の実践を通じ、色彩計画の高度・専門的な知識および実践力を習得することを目指す。		×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB507	構成領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	山本 早里、上浦 佑太	各自のテーマに基づき、修了研究に向けた演習を行う。		×	
01EB701	構成領域特別研究	演習	3.0	2	通年	随時	山本 早里、上浦 佑太	各自のテーマに基づき修了研究を行う。	14 条対応	×	

専門科目〔デザイン学領域群〕【総合造形領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB528	現代アート表現論	講義	1.5	1・2	春 ABC	火 4	小野 裕子	現代アートの知見を踏まえて、その動向を調査する。多領域の学生の意見を交えながら自身の研究と比較して、各自の研究に反映させていく。	2019 年度のみ。 2020 年度より秋 ABC 火 5 で開講。		中・高（美術）
01EB529	現代アート表現演習	演習	1.5	1・2	春 ABC	火 5	小野 裕子	現代アートの動向を調査し、各自の研究を深め、実験制作を行う。		×	中・高（美術）
01EB530	メディア表現論	講義	1.5	1・2	秋 ABC	火 4	村上 史明	現代のメディア技術について調査し、ディスカッションを行う。		×	

01EB531	メディア表現演習	演習	1.5	1・2	秋 ABC	火 5	村上 史明	メディアアートに関する制作活動の裏づけとなる資料を調査・整理・考察するとともに、各自が設定した課題に基づく作品の制作を行う。	2019 年度のみ。 2020 年度より春 ABC 火 4 で開講。	×	
01EB532	現代美術論	講義	1.5	1・2	秋 ABC	火 2	國安 孝昌	総合造形の視点から現代美術論を論じる。テキストの講読とレポート添削を行う。	01B9822 と同一。		中・高（美術）
01EB533	現代美術演習	演習	1.5	1・2	春 ABC	火 2	國安 孝昌	総合造形の視点から現代美術論を考えた討論を行い、一つの展覧会を立ち上げる。		×	中・高（美術）
01EB527	総合造形領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	総合造形の視点から討議を行い、個展を計画、準備し、実施する。		×	
01EB702	総合造形領域特別研究	演習	3.0	2	通年	火 6	國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	修了制作・修士論文の作成を中心とした、個々の研究指導を行う。	14 条対応	×	

専門科目〔デザイン学領域群〕【クラフト領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB553	陶磁造形演習Ⅰ	演習	1.5	1・2	春 ABC	水 1	齋藤 敏寿	作陶家、工芸家、造形作家、研究者、教育者等養成の為、土（粘土）から陶磁へ変化するシステムの理解と応用をテーマとして、実材主義的造形の立場から作品の理論づけと作品制作を行う。	授業時間外に窯焼成管理の時間等の自己管理が必須である。 01B9832 と同一。 芸術系棟 B-138 齋藤敏寿研究室にて授業を行う。	×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB554	陶磁造形演習Ⅱ	演習	1.5	1・2	秋 ABC	水 1	齋藤 敏寿	作陶家、工芸家、造形作家、研究者、教育者等養成の為、陶磁による造形に関して理論と制作から実践的に研究し、高度な表現を通して修得させる。	授業時間外に窯焼成管理の時間等の自己管理が必須である。 01B9833 と同一。 芸術系棟 B-138 齋藤敏寿研究室にて授業を行う。	×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB555	木材造形演習Ⅰ	演習	1.5	1・2	春 ABC	水 2	宮原 克人	樹木から木へ。木材の特性を生かした造形表現を検討する。		×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB556	木材造形演習Ⅱ	演習	1.5	1・2	秋 ABC	水 2	宮原 克人	各自テーマを設定し、具体的な作品制作を通して研究を行う。		×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB559	ガラス造形演習Ⅰ	演習	1.5	1・2	春 ABC	火 2	鄭 然暉	ガラス造形と自身の作品を比較しプレゼンテーションを行う。異素材を理解することで研究テーマの確立を目指す。	授業は B309 にて行う。学群においてガラス実習関連の授業を履修済みのこと。他大学からの入学者等に関しては条件付きで受講可。	×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB560	ガラス造形演習Ⅱ	演習	1.5	1・2	秋 ABC	随時	鄭 然暉	各自扱う素材とガラス素材を組み合わせる制作を行い、自身の研究を深める。		×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB548	漆芸演習	演習	2.0	1・2	通年	随時	宮原 克人	漆芸の基礎的な技術（乾漆、蒔絵、螺鈿）を習得し、各自の表現を試みる。		×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB547	クラフト領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 鄭 然暉	クラフト領域修了研究の推進の為、学生が設定したテーマに関して全体及び個別に指導する。	クラフト領域授業成果展等の企画、運営を行う。	×	
01EB703	クラフト領域特別研究	演習	3.0	2	通年	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 鄭 然暉	クラフト領域修了研究をめざし、学生の自主的テーマについて全体的及び個別的に指導する。	クラフト領域授業成果展等の企画、運営を行う。14 条対応	×	

専門科目〔デザイン学領域群〕【ビジュアルデザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB561	視覚伝達設計論特講	講義	1.0	1・2	秋 AB	木 2	原 忠信	視覚伝達デザインの今日的諸課題をとりあげ、ディスカッション、ブレインストーミング、プレゼンテーションを行う。			中・高（美術） 高（工芸）
01EB569	視覚伝達設計演習 A	演習	1.0	1・2	春 AB	木 2	原 忠信	ブラグマティックなデザインの方法を実践的な制作課題を通じて学ぶ。		×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB570	視覚伝達設計演習 B	演習	1.0	1・2	春 C	木 1,2	原 忠信	ブラグマティックなデザインの方法を実践的な制作課題を通じて学ぶ。		×	中・高（美術） 高（工芸）

01EB575	グラフィックデザイン論特講	講義	1.0	1・2	春 AB	木 4	田中 佐代子	各受講者の研究テーマに基づく、ビジュアルデザインの発展的な考察・立案を主題とし、ビジュアル・プレゼンテーションデータとビジュアル年表の制作を行う。	01B9842, 02RB315 と同一。		中・高（美術） 高（工芸）
01EB576	グラフィックデザイン演習	演習	1.0	1・2	秋 AB	木 4	田中 佐代子	エディトリアルデザイン、広告デザイン、イラストレーションなど、受講者の研究テーマに基づいた、平面的な媒体に関する発展的なテーマを研究し制作する。		×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB577	画像表現論特講	講義	2.0	1・2	春 AB	金 5, 6		デザイン、美術、サブカルチャーなどを横断的に探索しつつ、画像表現（絵による表現）の特質、意義、可能性について検討する。			中・高（美術） 高（工芸）
01EB578	画像表現演習	演習	1.0	1・2	秋 AB	火 3		美術、デザイン、サブカルチャー等多様に広がる画像表現（絵による表現）について、制作を通してその可能性を探索する。		×	中・高（美術） 高（工芸）
01EB568	ビジュアル・コミュニケーション演習	演習	1.0	1・2				学外からデザイナー等を講師として招き、実践的活動を踏まえたビジュアル・コミュニケーションの発想、制作、評価などについて学ぶ。	西暦奇数年度開講。	×	
01EB567	ビジュアルデザイン領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	田中 佐代子, 原 忠信	学生の自主的なテーマについて全体的および個別に研究指導する。		×	
01EB704	ビジュアルデザイン領域特別研究	演習	3.0	2	通年	随時	田中 佐代子, 原 忠信	修了研究へ向けて、全体的および個別に研究指導する。	14 条対応	×	

専門科目【デザイン学領域群】【情報デザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB605	情報デザイン論特講	講義	2.0	1・2				メディアとコミュニケーションを中心に情報デザインの社会的役割について考察する。			
01EB636	感性情報メディア論特講 I	1	1.0	1・2				デザインにおける情報のあり方を理解し、ヒューマンメディアによる表現方法の多様性について述べる。マルチメディア、情報メディアの新たな可能性と創造活動の実現を目指す。	教室：総合 D505 平成 27 年度までの「感性情報メディア論特講」に相当 西暦偶数年度開講。		
01EB637	感性情報メディア論特講 II	1	1.0	1・2				デザインにおける情報のあり方を理解し、ヒューマンメディアによる表現方法の多様性について述べる。マルチメディア、情報メディアの新たな可能性と創造活動の実現を目指す。	教室：総合 D505 平成 27 年度までの「感性情報メディア論特講」に相当 西暦偶数年度開講。		
01EB610	情報デザイン設計論特講	講義	2.0	1・2				高度情報化社会における情報・メディアとコミュニケーションの役割と、機能について検討し、情報を形作るデザインのための視点と技術を養う。			
01EB630	情報デザイン演習	演習	2.0	1				情報デザインにかかわる具体的な課題をもとに計画、設計、デザインを実践的に行う。		×	
01EB624	情報デザイン領域特別演習	演習	3.0	1				情報と IT とそのコミュニケーションに関するデザインを演習する。		×	
01EB705	情報デザイン領域特別研究	演習	3.0	2				各自の設定したテーマに基づき修了研究を指導する。	14 条対応	×	

専門科目【デザイン学領域群】【プロダクトデザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB612	生産デザイン論特講							生産デザインにおける、形や操作を媒介としたユーザと製造物の関係について、情報のコミュニケーションという視点を踏まえながら論じる。	西暦偶数年度開講。		

情報デザイン領域の科目はこの科目を含めて 2019 年度以降開講しない

情報デザイン領域の科目はこの科目を含めて 2019 年度以降開講しない

01EB601	デザイン解析論特講	講義	2.0	1.2	春 AB 秋 AB		小山 慎一, 山中 敏正	ヒューマンインタフェースや工業製品、サービス、情報システムなどの計画方法論をテーマに、人間工学、認知科学、感性科学、感性工学、サービス工学などの手法や事例の調査分析を行い、理論的・実践的な分析を通じて自らが手法を使いこなすための基礎を修得する。	西暦奇数年度開講。		
01EB631	デザインイノベーション論特講							デザインにおけるイノベーションについて事例を通して学習し、プロジェクトマネージメントの視点からデザインを行うための視点と技術を養う。	西暦偶数年度開講。		
01EB633	プロダクトデザイン演習	演習	2.0	1	秋 AB	木 6 集中	五十嵐 浩也, 山中 敏正, 小山 慎一, 山田 博之	プロダクトデザインにかかわる具体的な課題をもとに計画、設計、デザインを実践的に行う。		×	
01EB625	プロダクトデザイン領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	五十嵐 浩也, 山中 敏正, 小山 慎一, 山田 博之	社会におけるデザイン、視覚伝達デザイン、情報デザインおよびデザイナーの役割について考える。また、事例について、調査・分析を行い、その結果をプレゼンテーションを通じて表現する。		×	
01EB706	プロダクトデザイン領域特別研究	演習	3.0	2	通年	随時	五十嵐 浩也, 山中 敏正, 小山 慎一, 山田 博之	修士論文をまとめる基礎的研究能力を育成する。	14 条対応	×	

専門科目〔デザイン学領域群〕【環境デザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB615	環境デザイン論特講	講義	2.0	1・2	春 C	集中	渡 和由	都市計画・景観計画・ランドスケープ計画・ガーデン計画に関連した環境計画論的な考察と講述を行う。	西暦奇数年度開講。	×	中・高（美術）高（工芸）
01EB613	都市・地域設計論特講	講義	2.0	1・2	春 AB	木 4, 5	野中 勝利	都市や地域におけるまちづくりの実態、計画・設計に関わる制度論や方法論について、ケーススタディを用いて考察と講述を行う。後半はテーマに応じた受講生の発表をもとに議論をする。	西暦偶数年度開講。		中・高（美術）高（工芸）
01EB619	建築・都市パッシブデザイン論特講	講義	2.0	1・2	春 AB	木 4, 5	橋本 剛	建築及び都市におけるパッシブデザインの手法・原理・課題について講述する。	西暦奇数年度開講。	×	中・高（美術）高（工芸）
01EB634	環境デザイン演習	演習	2.0	1	秋 AB	木 6 集中	野中 勝利, 橋本 剛, 渡 和由	環境デザインにかかわる具体的な課題をもとに計画、設計、デザインを実践的に行う。		×	
01EB626	環境デザイン領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	野中 勝利, 橋本 剛, 渡 和由	環境デザインに関して、ゼミナール形式による演習を行う。	教室：芸術学系棟 B441	×	
01EB707	環境デザイン領域特別研究	演習	3.0	2	通年	随時	野中 勝利, 橋本 剛, 渡 和由	ゼミナール形式により、各自の設定した研究テーマに基づき指導する。	14 条対応。教室：芸術学系棟 B441	×	

専門科目〔デザイン学領域群〕【建築デザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB616	建築構法論特講	講義	2.0	1・2	秋 AB	火 4, 5	加藤 研	建築構法論について講述する。	西暦奇数年度開講。		中・高（美術）高（工芸）
01EB617	建築計画論特講	講義	2.0	1・2				建築計画論及び環境行動論について研究手法に着目して講述する。	西暦偶数年度開講。		中・高（美術）高（工芸）
01EB618	建築設計論特講	講義	2.0	1・2				建築設計論について講述する。	西暦偶数年度開講。	×	中・高（美術）高（工芸）
	建築・都市フィールドデザイン論特論	講義	2.0	1・2	春 AB	火 4, 5	山田 協太	建築及び都市の実施に即したデザイン手法・原理・課題について講述する。	西暦奇数年度開講。		
01EB635	建築デザイン演習	演習	2.0	1	春 C 夏季休業中	金 4, 5 随時	花里 俊廣, 貝島 桃代, 山田 協太, 加藤 研	特定課題を設けた建築デザイン分野に関する計画・設計の演習。		×	

01EB628	建築デザイン領域特別演習	演習	3.0	1	通年	随時	花里 俊廣, 貝島 桃代, 山田 協太, 加藤 研	修了研究へ向けて、各自の設定したテーマに基づき演習を行なう。		×	
01EB708	建築デザイン領域特別研究	演習	3.0	2	通年	随時	花里 俊廣, 貝島 桃代, 山田 協太, 加藤 研	ゼミナール形式により、各自の設定した研究テーマに基づき指導する。	14 条対応	×	

専門科目〔デザイン学領域群〕【複合領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	専修免許状免許教科
01EB620	デザイン総合演習	演習	2.0	1・2	春 AB	木 6 集中	李 昇姫, 内山 俊朗, 五十嵐 浩也, 山中 敏正, 小山慎一, 山田 博之, 野中 勝利, 渡 和由, 花里 俊廣, 貝島 桃代, 橋本 剛, 加藤 研, 山田 協太	情報・プロダクト・環境・建築の各デザインを複合する実践的なワークショップを行なう。		×	
01EB623	インターンシップ	実習	1.0	1・2	通年	応談	李 昇姫, 内山 俊朗, 五十嵐 浩也, 山中 敏正, 小山慎一, 野中 勝利, 渡 和由, 花里 俊廣, 貝島 桃代, 橋本 剛, 加藤 研, 山田 協太	デザインに関する実践的環境について、現場環境に就いて、実際のデザイン実務について実習する。国内外の企業や実践的プロジェクトにおける実習やインターンシップの機会も活用して、デザインの目的やプロセスを体験として修得する。		×	

教育職員免許状(専修免許状)対応科目について

教育職員免許状(専修免許状)を取得するためには各免許教科に対応する科目を24単位以上取得することが必要です(一種免許状取得要件を満たしていること)。芸術専攻の対応科目は次のとおりですので取得希望者は注意してください。また、教育職員免許状取得に関する詳細は大学のホームページに掲載されていますので確認してください。

免許教科	科目番号	授業科目	単位数	専修免許状 修得単位数	免許教科	科目番号	授業科目	単位数	専修免許状 修得単位数
美術	01EB031	西洋美術史 -1	1	24 単 位 以 上	美術	01EB480	芸術学習支援論 B	2	24 単 位 以 上
	01EB034	西洋美術史 -2	1			01EB482	芸術支援ワークショップ I	1	
	01EB035	日本美術史	1			01EB483	芸術支援ワークショップ II	1	
	01EB041	美術論	1			01EB201	洋画技法論特講	2	
	01EB043	芸術教育論 A-1	1			01EB202	西洋美術技法演習	6	
	01EB044	芸術教育論 A-2	1			01EB801	洋画制作 A-1	1.5	
	01EB061	構成論特講 I	1.5			01EB802	洋画制作 A-2	1.5	
	01EB062	構成論特講 II	1.5			01EB803	洋画制作 B-1	1.5	
	01EB063	大学を開くデザインプロデュース特講・演習 A-I	1.5			01EB804	洋画制作 B-2	1.5	
	01EB064	大学を開くデザインプロデュース特講・演習 A-II	1.5			01EB805	洋画制作 C-1	1.5	
	01EB065	大学を開くデザインプロデュース特講・演習 B-I	1.5			01EB806	洋画制作 C-2	1.5	
	01EB066	大学を開くデザインプロデュース特講・演習 B-II	1.5			01EB807	洋画制作 D-1	1.5	
	01EB026	デザイン特講 C	1			01EB808	洋画制作 D-2	1.5	
	01EB027	デザイン特講 D	1			01EB809	洋画特別制作 A-1	1.5	
	01EB401	西洋近世美術史特講 I-1	1			01EB810	洋画特別制作 A-2	1.5	
	01EB402	西洋近世美術史特講 I-2	1			01EB811	洋画特別制作 B-1	1.5	
	01EB403	西洋近世美術史特講 II-1	1			01EB812	洋画特別制作 B-2	1.5	
	01EB404	西洋近世美術史特講 II-2	1			01EB813	洋画特別制作 C-1	1.5	
	01EB405	西洋近世美術史演習 I-1	1			01EB814	洋画特別制作 C-2	1.5	
	01EB406	西洋近世美術史演習 I-2	1			01EB815	洋画特別制作 D-1	1.5	
	01EB407	西洋近世美術史演習 II-1	1			01EB816	洋画特別制作 D-2	1.5	
	01EB408	西洋近世美術史演習 II-2	1			01EB831	版画制作 A-1	1.5	
	01EB409	近・現代美術論特講 I-1	1			01EB832	版画制作 A-2	1.5	
	01EB410	近・現代美術論特講 I-2	1			01EB833	版画制作 B-1	1.5	
	01EB411	近・現代美術論特講 II-1	1			01EB834	版画制作 B-2	1.5	
	01EB412	近・現代美術論特講 II-2	1			01EB835	版画特別制作 -1	1.5	
	01EB413	近・現代美術論演習 I-1	1			01EB836	版画特別制作 -2	1.5	
	01EB414	近・現代美術論演習 I-2	1			01EB224	洋画野外風景実習	1	
	01EB415	近・現代美術論演習 II-1	1			01EB225	平版演習	4	
	01EB416	近・現代美術論演習 II-2	1			01EB241	日本画表現技法・材料特講	2	
	01EB417	西洋古代美術史特講 I-1	1			01EB841	日本美術技法演習 -1	1.5	
	01EB418	西洋古代美術史特講 I-2	1			01EB842	日本美術技法演習 -2	1.5	
	01EB419	西洋古代美術史特講 II-1	1			01EB845	日本画制作 A-1	1.5	
	01EB420	西洋古代美術史特講 II-2	1			01EB846	日本画制作 A-2	1.5	
	01EB421	西洋古代美術史演習 I-1	1			01EB847	日本画制作 B-1	1.5	
	01EB422	西洋古代美術史演習 I-2	1			01EB848	日本画制作 B-2	1.5	
	01EB423	西洋古代美術史演習 II-1	1			01EB849	日本画制作 C-1	1.5	
	01EB424	西洋古代美術史演習 II-2	1			01EB850	日本画制作 C-2	1.5	
	01EB425	日本美術史特講 I-1	1			01EB851	日本画制作 D-1	1.5	
	01EB426	日本美術史特講 I-2	1			01EB852	日本画制作 D-2	1.5	
	01EB427	日本美術史特講 II-1	1			01EB853	日本画特別制作 A-1	1.5	
	01EB428	日本美術史特講 II-2	1			01EB854	日本画特別制作 A-2	1.5	
	01EB429	日本美術史演習 I-1	1			01EB855	日本画特別制作 B-1	1.5	
	01EB430	日本美術史演習 I-2	1			01EB856	日本画特別制作 B-2	1.5	
	01EB431	日本美術史演習 II-1	1			01EB857	日本画特別制作 C-1	1.5	
	01EB432	日本美術史演習 II-2	1			01EB858	日本画特別制作 C-2	1.5	
	01EB441	美術史学外演習 I	1.5			01EB859	日本画特別制作 D-1	1.5	
	01EB442	美術史学外演習 II	1.5			01EB860	日本画特別制作 D-2	1.5	
	01EB461	美術論特講 -1	1			01EB251	日本画野外風景実習	1	
	01EB462	美術論特講 -2	1			01EB843	日本美術特別技法演習 -1	1.5	
	01EB463	美術論演習 -1	1			01EB844	日本美術特別技法演習 -2	1.5	
	01EB464	美術論演習 -2	1			01EB871	彫塑技法論特講 -1	1	
	01EB465	芸術支援学特講 -1	1			01EB872	彫塑技法論特講 -2	1	
	01EB466	芸術支援学特講 -2	1			01EB263	彫塑学外演習	1	
	01EB467	芸術支援学演習 -1	1			01EB875	塑造制作 A-1	1.5	
	01EB468	芸術支援学演習 -2	1			01EB876	塑造制作 A-2	1.5	
	01EB135	芸術支援学学外演習 I	1.5			01EB877	塑造制作 B-1	1.5	
	01EB481	芸術支援学学外演習 II	1.5			01EB878	塑造制作 B-2	1.5	
	01EB484	芸術教育方法論 A-1	1			01EB879	彫刻制作 A-1	1.5	
	01EB485	芸術教育方法論 A-2	1			01EB880	彫刻制作 A-2	1.5	
	01EB486	芸術教育方法論 B-1	1			01EB881	彫刻制作 B-1	1.5	
	01EB487	芸術教育方法論 B-2	1			01EB882	彫刻制作 B-2	1.5	
	01EB479	芸術学習支援論 A	2			01EB883	金属彫刻制作 -1	1.5	

次頁につづく

免許 教科	科目番号	授 業 科 目	単位数	専修免許状 修得単位数
書 道	01EB047	書論特講 I	1.5	24 単 位 以 上
	01EB048	書論特講 II	1.5	
	01EB049	書鑑賞論特講 I	1.5	
	01EB050	書鑑賞論特講 II	1.5	
	01EB281	隸・楷漢字制作	3	
	01EB282	行・草漢字制作	3	
	01EB283	古文字書法A	3	
	01EB284	古文字書法B	3	
	01EB285	仮名制作A	3	
	01EB286	仮名制作B	3	
	01EB891	書学外演習 A	1.5	
	01EB892	書学外演習 B	1.5	

美術史領域の参考履修例

専攻共通科目		専門科目			単位合計
		単位計	選択必修科目（24 単位以上）	関連科目	
西洋美術史-1 西洋美術史-2 日本美術史 美術論	(1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位)	6 単位以上	西洋近世美術史特講Ⅰ-1 西洋近世美術史特講Ⅰ-2 西洋近世美術史特講Ⅱ-1 西洋近世美術史特講Ⅱ-2 西洋近世美術史演習Ⅰ-1 西洋近世美術史演習Ⅰ-2 西洋近世美術史演習Ⅱ-1 西洋近世美術史演習Ⅱ-2 近・現代美術論特講Ⅰ-1 近・現代美術論特講Ⅰ-2 近・現代美術論特講Ⅱ-1 近・現代美術論特講Ⅱ-2 近・現代美術論演習Ⅰ-1 近・現代美術論演習Ⅰ-2 近・現代美術論演習Ⅱ-1 近・現代美術論演習Ⅱ-2 西洋古代美術史特講Ⅰ-1 西洋古代美術史特講Ⅰ-2 西洋古代美術史特講Ⅱ-1 西洋古代美術史特講Ⅱ-2 西洋古代美術史演習Ⅰ-1 西洋古代美術史演習Ⅰ-2 西洋古代美術史演習Ⅱ-1 西洋古代美術史演習Ⅱ-2 日本美術史特講Ⅰ-1 日本美術史特講Ⅰ-2 日本美術史特講Ⅱ-1 日本美術史特講Ⅱ-2 日本美術史演習Ⅰ-1 日本美術史演習Ⅰ-2 日本美術史演習Ⅱ-1 日本美術史演習Ⅱ-2 美術史学外演習Ⅰ 美術史学外演習Ⅱ 美術史領域特別演習 美術史領域特別研究	(1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1 単位) (1	

芸術支援領域の参考履修例

専攻共通科目		専 門 科 目				単位合計
		単位計	選択必修科目 (24 単位以上)	関連科目	単位計	
西洋美術史-1	(1 単位)	6 単位以上	芸術支援学特講-1	(1 単位)	24 単位以上	30 単位以上
西洋美術史-2	(1 単位)		芸術支援学特講-2	(1 単位)		
日本美術史	(1 単位)		芸術支援学演習-1	(1 単位)		
美術論	(1 単位)		芸術支援学演習-2	(1 単位)		
芸術教育論 A-1	(1 単位)		芸術教育方法論 A-1	(1 単位)		
芸術教育論 A-2	(1 単位)		芸術教育方法論 A-2	(1 単位)		
大学を開くアートプロデュース			芸術教育方法論 B-1	(1 単位)		
特講・演習 A-I	(1.5 単位)		芸術教育方法論 B-2	(1 単位)		
特講・演習 A-II	(1.5 単位)		芸術学習支援論 A	(2 単位)		
大学を開くアートプロデュース			芸術学習支援論 B	(2 単位)		
特講・演習 B-I	(1.5 単位)		芸術学習支援演習 A	(2 単位)		
特講・演習 B-II	(1.5 単位)		芸術学習支援演習 B	(2 単位)		
書論特講 I	(1.5 単位)		芸術支援ワークショップ I	(1 単位)		
書論特講 II	(1.5 単位)		芸術支援ワークショップ II	(1 単位)		
書鑑賞論特講 I	(1.5 単位)		芸術支援ワークショップ III	(1 単位)		
書鑑賞論特講 II	(1.5 単位)		芸術支援学学外演習 I	(1.5 単位)		
			芸術支援学学外演習 II	(1.5 単位)		
その他の専攻共通科目			芸術支援領域特別演習	(3 単位)		
			芸術支援領域特別研究	(3 単位)		
			(14 条対応)			
			芸術科教育特論 A	(1 単位)		
			芸術科教育特論 B	(1 単位)		
			芸術科教育実践演習 A	(1 単位)		
			芸術科教育実践演習 B	(1 単位)		
			芸術鑑賞論 A-1	(1 単位)		
			芸術鑑賞論 A-2	(1 単位)		
			芸術鑑賞論 B-1	(1 単位)		
			芸術鑑賞論 B-2	(1 単位)		

洋画領域の参考履修例

専 攻 共 通 科 目		単位計	専 門 科 目				単位合計
			選択必修科目（24 単位以上）		関 連 科 目	単位計	
美術論	(1 単位)	6 単位以上	洋画制作 A-1	(1.5 単位)	所属領域群の科目の中から選択するもの。 その他、10 単位を限度として所属領域群 以外の領域、本研究科の他専攻、他研究科で 開講されている科目で研究上必要とするもの。	24 単位以上	30 単位以上
日本美術史	(1 単位)		洋画制作 A-2	(1.5 単位)			
西洋美術史-1	(1 単位)		洋画制作 B-1	(1.5 単位)			
西洋美術史-2	(1 単位)		洋画制作 B-2	(1.5 単位)			
芸術教育論 A-1	(1 単位)		洋画制作 C-1	(1.5 単位)			
芸術教育論 A-2	(1 単位)		洋画制作 C-2	(1.5 単位)			
書論特講 I	(1.5 単位)		洋画制作 D-1	(1.5 単位)			
書論特講 II	(1.5 単位)		洋画制作 D-2	(1.5 単位)			
書鑑賞論特講 I	(1.5 単位)		版画制作 A-1	(1.5 単位)			
書鑑賞論特講 II	(1.5 単位)		版画制作 A-2	(1.5 単位)			
			版画制作 B-1	(1.5 単位)			
			版画制作 B-2	(1.5 単位)			
			平版演習	(4 単位)			
			洋画技法論特講	(2 単位)			
		西洋美術技法演習	(6 単位)				
		洋画特別制作 A-1	(1.5 単位)				
		洋画特別制作 A-2	(1.5 単位)				
		洋画特別制作 B-1	(1.5 単位)				
		洋画特別制作 B-2	(1.5 単位)				
		洋画特別制作 C-1	(1.5 単位)				
		洋画特別制作 C-2	(1.5 単位)				
		洋画特別制作 D-1	(1.5 単位)				
		洋画特別制作 D-2	(1.5 単位)				
		洋画野外風景実習	(1 単位)				
		版画特別制作- I	(1.5 単位)				
		版画特別制作- II	(1.5 単位)				
		洋画領域特別演習	(3 単位)（必修）				
		版画領域特別演習	(3 単位)（必修）				
		洋画領域特別研究	(3 単位)（必修）				
その他の専攻共通科目			(14 条対応)				

日本画領域の参考履修例

専攻共通科目		単位計	専 門 科 目		単位計	単位合計	
			選択必修科目（24 単位以上）				関 連 科 目
西洋美術史-1	(1 単位)	6 単位以上	日本画表現技法・材料特講（2 単位）		所属領域群の科目の中から選択するもの。 その他 10 単位を限度として、所属領域群 以外の領域、本研究科の他専攻、及び他研究 科で開講されている科目で研究上必要とする もの。	24 単位以上	30 単位以上
西洋美術史-2	(1 単位)		日本美術技法演習-1（1.5 単位）				
日本美術史	(1 単位)		日本美術技法演習-2（1.5 単位）				
美術論	(1 単位)		日本美術特別技法演習-1（1.5 単位）				
芸術教育論A-1	(1 単位)		日本美術特別技法演習-2（1.5 単位）				
芸術教育論A-2	(1 単位)		日本画制作A-1（1.5 単位）				
書論特講 I	(1.5 単位)		日本画制作A-2（1.5 単位）				
書論特講 II	(1.5 単位)		日本画制作B-1（1.5 単位）				
書鑑賞論特講 I	(1.5 単位)		日本画制作B-2（1.5 単位）				
書鑑賞論特講 II	(1.5 単位)		日本画制作C-1（1.5 単位）				
その他の専攻共通科目			日本画制作C-2（1.5 単位）				
			日本画制作D-1（1.5 単位）				
			日本画制作D-2（1.5 単位）				
			日本画特別制作A-1（1.5 単位）				
			日本画特別制作A-2（1.5 単位）				
			日本画特別制作B-1（1.5 単位）				
			日本画特別制作B-2（1.5 単位）				
			日本画特別制作C-1（1.5 単位）				
			日本画特別制作C-2（1.5 単位）				
			日本画特別制作D-1（1.5 単位）				
			日本画特別制作D-2（1.5 単位）				
			日本画野外風景実習（1 単位）				
			日本画領域特別演習（3 単位）（必修）				
			日本画領域特別研究（3 単位）（必修）				
			（14 条対応）				

彫塑領域の参考履修例

専攻共通科目		専門科目				単位合計	
		単位計	選択必修科目（24 単位以上）		関連科目		単位計
美術論	(1 単位)	6 単位以上	彫塑技法論特講- 1	(1 単位)	所属領域群の科目の中から選択するもの。 その他 10 単位を限度として、所属領域群 以外の領域、本研究科の他専攻、他研究科で 開講されている科目で研究上必要とするもの。	24 単位以上	30 単位以上
日本美術史	(1 単位)		彫塑技法論特講- 2	(1 単位)			
西洋美術史- 1	(1 単位)		彫塑学外演習	(1 単位)			
西洋美術史- 2	(1 単位)		塑造制作 A- 1	(1.5 単位)			
芸術教育論 A- 1	(1 単位)		塑造制作 A- 2	(1.5 単位)			
芸術教育論 A- 2	(1 単位)		塑造制作 B- 1	(1.5 単位)			
その他の専攻共通科目			塑造制作 B- 2	(1.5 単位)			
			彫刻制作 A- 1	(1.5 単位)			
			彫刻制作 A- 2	(1.5 単位)			
			彫刻制作 B- 1	(1.5 単位)			
			彫刻制作 B- 2	(1.5 単位)			
			彫塑特別制作 A	(1 単位)			
			彫塑特別制作 B	(1 単位)			
			彫塑特別制作 C	(1 単位)			
			彫塑特別制作 D	(1 単位)			
			彫塑特別制作 E	(1 単位)			
			彫塑特別制作 F	(1 単位)			
			彫塑特別制作 G	(1 単位)			
			金属彫刻制作- 1	(1.5 単位)			
			金属彫刻制作- 2	(1.5 単位)			
			テラコッタ制作	(1.5 単位)			
			彫塑領域特別演習	(3 単位)（必修）			
			彫塑領域特別研究	(3 単位)（必修）			
				(14 条対応)			

書領域の参考履修例

専攻共通科目		専門科目				単位合計	
		単位計	選択必修科目（18 単位以上）	関連科目（6 単位以上）	単位計		
書論特講Ⅰ	(1.5 単位)	6 単位以上	隸・楷漢字制作	(3 単位)	日本史演習	24 単位以上	30 単位以上
書論特講Ⅱ	(1.5 単位)		行・草漢字制作	(3 単位)	東洋史演習		
書鑑賞論特講Ⅰ	(1.5 単位)		古文字書法 A	(3 単位)	日本文献学研究		
書鑑賞論特講Ⅱ	(1.5 単位)		古文字書法 B	(3 単位)	和漢比較文学研究		
西洋美術史 1			仮名制作 A	(3 単位)	中国文学研究		
西洋美術史 2			仮名制作 B	(3 単位)	中国語学研究		
日本美術史			書学外演習 A	(1.5 単位)	その他、10 単位を限度として、所属領域 群以外の領域、本研究科の他専攻、及び他研 究科および学群で開講されている科目で研究 上必要とするもの。		
美術論			書学外演習 B	(1.5 単位)			
芸術教育論 A－1			書領域特別演習	(3 単位)			
その他の専攻共通科目			書領域特別研究	(3 単位)			
			(14 条対応)				

構成領域の参考履修例

専 攻 共 通 科 目		専 門 科 目				単位合計		
単位計		選択必修科目（12 単位以上）		関連科目（12 単位以上）			単位計	
構成論特講Ⅰ	(1.5 単位)	6 単位以上	平面・立体構成論特講	(1.5 単位)	視覚伝達設計論特講	(1 単位)	24 単位以上	30 単位以上
構成論特講Ⅱ	(1.5 単位)		平面・立体構成演習	(1.5 単位)	視覚伝達設計演習 A	(1 単位)		
創造的復興：			色彩計画論特講	(1.5 単位)	視覚伝達設計演習 B	(1 単位)		
ローカルデザイン特別演習Ⅰ	(2 単位)		色彩計画演習	(1.5 単位)	グラフィックデザイン論特講	(1.5 単位)		
創造的復興：			構成領域特別演習	(3 単位)	グラフィックデザイン演習	(1.5 単位)		
チャレンジ特別学外演習Ⅰ	(2 単位)		構成領域特別研究	(3 単位)	画像表現論特講	(1.5 単位)		
創造的復興：					画像表現演習	(1.5 単位)		
ローカルデザイン特別演習Ⅱ	(2 単位)				現代アート表現論	(1.5 単位)		
創造的復興：					現代アート表現演習	(1.5 単位)		
チャレンジ特別学外演習Ⅱ	(2 単位)				メディア表現論	(1.5 単位)		
創造的復興：国際学外演習	(2 単位)				メディア表現演習	(1.5 単位)		
デザイン特講 A	(1 単位)				現代美術論	(1.5 単位)		
デザイン特講 B	(1 単位)				現代美術演習	(1.5 単位)		
デザイン特講 C	(1 単位)				ガラス造形演習Ⅰ	(1.5 単位)		
デザイン特講 D	(1 単位)				ガラス造形演習Ⅱ	(1.5 単位)		
大学を開くデザインプロデュース					陶磁造形演習Ⅰ	(1.5 単位)		
特講・演習 A－Ⅰ	(1.5 単位)				陶磁造形演習Ⅱ	(1.5 単位)		
特講・演習 A－Ⅱ	(1.5 単位)				木材造形演習Ⅰ	(1.5 単位)		
大学を開くデザインプロデュース					木材造形演習Ⅱ	(1.5 単位)		
特講・演習 B－Ⅰ	(1.5 単位)				漆芸演習	(2 単位)		
特講・演習 B－Ⅱ	(1.5 単位)							
その他の専攻共通科目					上記科目を中心にデザイン学領域群専門科目の中から選択する科目。 その他、10 単位を限度として、所属領域群以外の領域、本研究科の他専攻、及び他研究科で開講されている科目で研究上必要とするもの。			

総合造形領域の参考履修例

専攻共通科目	専門科目					単位合計
	単位計	選択必修科目（15 単位以上）	関連科目（9 単位以上）		単位計	
構成論特講Ⅰ（1.5 単位） 構成論特講Ⅱ（1.5 単位） 創造的復興： ローカルデザイン特別演習Ⅰ（2 単位） 創造的復興： チャレンジ特別学外演習Ⅰ（2 単位） 創造的復興： ローカルデザイン特別演習Ⅱ（2 単位） 創造的復興： チャレンジ特別学外演習Ⅱ（2 単位） 創造的復興：国際学外演習（2 単位） デザイン特講 A（1 単位） デザイン特講 B（1 単位） デザイン特講 C（1 単位） デザイン特講 D（1 単位） 大学を開くデザインプロデュース 特講・演習 A－Ⅰ（1.5 単位） 特講・演習 A－Ⅱ（1.5 単位） 大学を開くデザインプロデュース 特講・演習 B－Ⅰ（1.5 単位） 特講・演習 B－Ⅱ（1.5 単位） その他の専攻共通科目	6 単位以上	現代アート表現論（1.5 単位） 現代アート表現演習（1.5 単位） メディア表現論（1.5 単位） メディア表現演習（1.5 単位） 現代美術論（1.5 単位） 現代美術演習（1.5 単位） 総合造形領域特別演習（3 単位） 総合造形領域特別研究（3 単位） 上記のほか、「修士（芸術学）」の学位を 取得希望の者は、下記の科目の中から、6 単位以上を履修すること。 近代美術史特講Ⅰ－1（1 単位） 近代美術史特講Ⅰ－2（1 単位） 近代美術史特講Ⅱ－1（1 単位） 近代美術史特講Ⅱ－2（1 単位） 芸術支援学特講－1（1 単位） 芸術支援学特講－2（1 単位） 洋画技法論特講（2 単位） 版画制作 B－Ⅰ（1.5 単位） 版画制作 B－Ⅱ（1.5 単位） 日本画表現技法・材料特講（2 単位） 彫塑技法論特講－1（1 単位） 彫塑技法論特講－2（1 単位） 隷・楷漢字制作（3 単位） 美術論特講－1（1 単位） 美術論特講－2（1 単位）	平面・立体構成論特講（1.5 単位） 平面・立体構成演習（1.5 単位） 色彩計画論特講（1.5 単位） 色彩計画演習（1.5 単位） ガラス造形演習Ⅰ（1.5 単位） ガラス造形演習Ⅱ（1.5 単位） 陶磁造形演習Ⅰ・Ⅱ（1.5 単位） 木材造形演習Ⅰ・Ⅱ（1.5 単位） 視覚伝達設計演習 A（1 単位） 視覚伝達設計演習 B（1 単位） グラフィックデザイン論特講（1.5 単位） グラフィックデザイン演習（1.5 単位） 画像表現論特講（1.5 単位） 画像表現演習（1.5 単位） その他、10 単位を限度として、所属領域 以外の領域、本研究科の他専攻、及び他研究 科等で開講されている科目で研究上必要とす るもの。	24 単位以上	30 単位以上	

クラフト領域の参考履修例

専 攻 共 通 科 目	専 門 科 目					単位合計
	単位計	選択必修科目（12 単位以上）		関連科目（12 単位以上）		
構成論特講Ⅰ（1.5 単位）	6 単位以上	ガラス造形演習Ⅰ（1.5 単位）	平面・立体構成論特講（1.5 単位）	24 単位以上	30 単位以上	
構成論特講Ⅱ（1.5 単位）		ガラス造形演習Ⅱ（1.5 単位）	平面・立体構成演習（1.5 単位）			
創造的復興：		陶磁造形演習Ⅰ（1.5 単位）	色彩計画論特講（1.5 単位）			
ローカルデザイン特別演習Ⅰ（2 単位）		陶磁造形演習Ⅱ（1.5 単位）	色彩計画演習（1.5 単位）			
創造的復興：		木材造形演習Ⅰ（1.5 単位）	現代アート表現論（1.5 単位）			
チャレンジ特別学外演習Ⅰ（2 単位）		木材造形演習Ⅱ（1.5 単位）	現代アート表現演習（1.5 単位）			
創造的復興：		漆芸演習（2 単位）	メディア表現論（1.5 単位）			
ローカルデザイン特別演習Ⅱ（2 単位）		クラフト領域特別演習（3 単位）	メディア表現演習（1.5 単位）			
創造的復興：		クラフト領域特別研究（3 単位）	現代美術論（1.5 単位）			
チャレンジ特別学外演習Ⅱ（2 単位）		（14 条対応）	現代美術演習（1.5 単位）			
創造的復興：国際学外演習（2 単位）			視覚伝達設計演習A（1 単位）			
日本美術史-1（1 単位）			視覚伝達設計演習B（1 単位）			
日本美術史-2（1 単位）			グラフィックデザイン論特講（1.5 単位）			
東洋美術史-1（1 単位）			グラフィックデザイン演習（1.5 単位）			
東洋美術史-2（1 単位）			画像表現論特講（1.5 単位）			
デザイン特講A（1 単位）			画像表現演習（1.5 単位）			
デザイン特講B（1 単位）			その他、10 単位を限度として、所属領域 群以外の領域、本研究科の他専攻、及び他研 究科で開講されている科目で研究上必要とす るもの。			
デザイン特講C（1 単位）						
デザイン特講D（1 単位）						
大学を開くデザインプロデュース						
特講・演習A-I（1.5 単位）						
特講・演習A-II（1.5 単位）						
大学を開くデザインプロデュース						
特講・演習B-I（1.5 単位）						
特講・演習B-II（1.5 単位）						
その他の専攻共通科目						

ビジュアルデザイン領域の参考履修例

専攻共通科目	単位計	専 門 科 目				単位合計
		選択必修科目 (12 単位以上)	関連科目 (12 単位以上)		単位計	
構成論特講Ⅰ (1.5 単位) 構成論特講Ⅱ (1.5 単位) 創造的復興： ローカルデザイン特別演習Ⅰ (2 単位) 創造的復興： チャレンジ特別学外演習Ⅰ (2 単位) 創造的復興： ローカルデザイン特別演習Ⅱ (2 単位) 創造的復興： チャレンジ特別学外演習Ⅱ (2 単位) 創造的復興：国際学外演習 (2 単位) デザイン特講 A (1 単位) デザイン特講 B (1 単位) デザイン特講 C (1 単位) デザイン特講 D (1 単位) 大学を開くデザインプロデュース 特講・演習 A-Ⅰ (1.5 単位) 特講・演習 A-Ⅱ (1.5 単位) 大学を開くデザインプロデュース 特講・演習 B-Ⅰ (1.5 単位) 特講・演習 B-Ⅱ (1.5 単位) その他の専攻共通科目	6 単位以上	視覚伝達設計論特講 (1 単位) 視覚伝達設計演習 A (1 単位) 視覚伝達設計演習 B (1 単位) グラフィックデザイン論特講 (1 単位) グラフィックデザイン演習 (1 単位) 画像表現論特講 (2 単位) 画像表現演習 (1 単位) ビジュアル・コミュニケーション演習 (1 単位) ビジュアルデザイン領域特別演習 (3 単位) ビジュアルデザイン領域特別研究 (3 単位) (14 条対応) ※ビジュアルデザイン領域特別演習は 1 年次に、ビジュアルデザイン領域特別研究は 2 年次以降に必ず履修すること。	平面・立体構成論特講 (1.5 単位) 平面・立体構成演習 (1.5 単位) 色彩計画論特講 (1.5 単位) 色彩計画演習 (1.5 単位) 現代アート表現論 (1.5 単位) 現代アート表現演習 (1.5 単位) メディア表現論 (1.5 単位) メディア表現演習 (1.5 単位) 現代美術論 (1.5 単位) 現代美術演習 (1.5 単位) ガラス造形演習Ⅰ (1.5 単位) ガラス造形演習Ⅱ (1.5 単位) 陶磁造形演習Ⅰ (1.5 単位) 陶磁造形演習Ⅱ (1.5 単位) 木材造形演習Ⅰ (1.5 単位) 木材造形演習Ⅱ (1.5 単位) その他、10 単位を限度として、所属領域群以外の領域で開講されている科目で研究上必要とするもの。		24 単位以上	30 単位以上

情報デザイン領域の参考履修例

専 攻 共 通 科 目		専 門 科 目				単位合計		
		単位計	選択必修科目（17 単位以上）	関連科目（7 単位以上）	単位計			
構成論特講Ⅰ	(1.5 単位)	6 単位以上	情報デザイン論特講	(2 単位)	生産デザイン論特講	(2 単位)	24 単位以上	30 単位以上
構成論特講Ⅱ	(1.5 単位)		感性情報メディア論特講Ⅰ	(1 単位)	デザイン解析論特講	(2 単位)		
デザイン特講A	(1 単位)		感性情報メディア論特講Ⅱ	(1 単位)	デザインイノベーション論特講	(2 単位)		
デザイン特講B	(1 単位)		情報デザイン設計論特講	(2 単位)				
デザイン特講C	(1 単位)		情報デザイン演習	(2 単位)	デザイン学領域群の科目の中から選択するもの。			
デザイン特講D	(1 単位)		デザイン総合演習	(2 単位)	その他、10 単位を限度として、所属領域群以外の領域、本研究科の他専攻、他研究科及び学群で開講されている科目の中からで研究上必要とされるものを選択する。			
大学を開くデザインプロデュース			インターンシップ	(1 単位)				
特講・演習 A－Ⅰ	(1.5 単位)		情報デザイン領域特別演習	(3 単位)				
特講・演習 A－Ⅱ	(1.5 単位)		情報デザイン領域特別研究	(3 単位)				
大学を開くデザインプロデュース				(14 条対応)				
特講・演習 B－Ⅰ	(1.5 単位)							
特講・演習 B－Ⅱ	(1.5 単位)							
その他の専攻共通科目								

プロダクトデザイン領域の参考履修例

専 攻 共 通 科 目	単位計	専 門 科 目			単位合計
		選択必修科目 (17 単位以上)	関連科目 (7 単位以上)	単位計	
構成論特講 I (1.5 単位) 構成論特講 II (1.5 単位) デザイン特講 A (1 単位) デザイン特講 B (1 単位) デザイン特講 C (1 単位) デザイン特講 D (1 単位) 大学を開くデザインプロセス 特講・演習 A-I (1.5 単位) 特講・演習 A-II (1.5 単位) 大学を開くデザインプロセス 特講・演習 B-I (1.5 単位) 特講・演習 B-II (1.5 単位)	6 単位以上	生産デザイン論特講 (2 単位) デザイン解析論特講 (2 単位) デザインイノベーション論特講 (2 単位) プロダクトデザイン演習 (2 単位) デザイン総合演習 (2 単位) インターンシップ (1 単位) プロダクトデザイン領域特別演習 (3 単位) プロダクトデザイン領域特別研究 (3 単位) (14 条対応)	デザイン学領域群の科目の中から 10 単位を限度として、所属領域群以外の領域、本研究科の他専攻、他研究科及び学群で開講されている科目の中からで研究上必要とされるものを選択する。	24 単位以上	30 単位以上
その他の専攻共通科目					

38

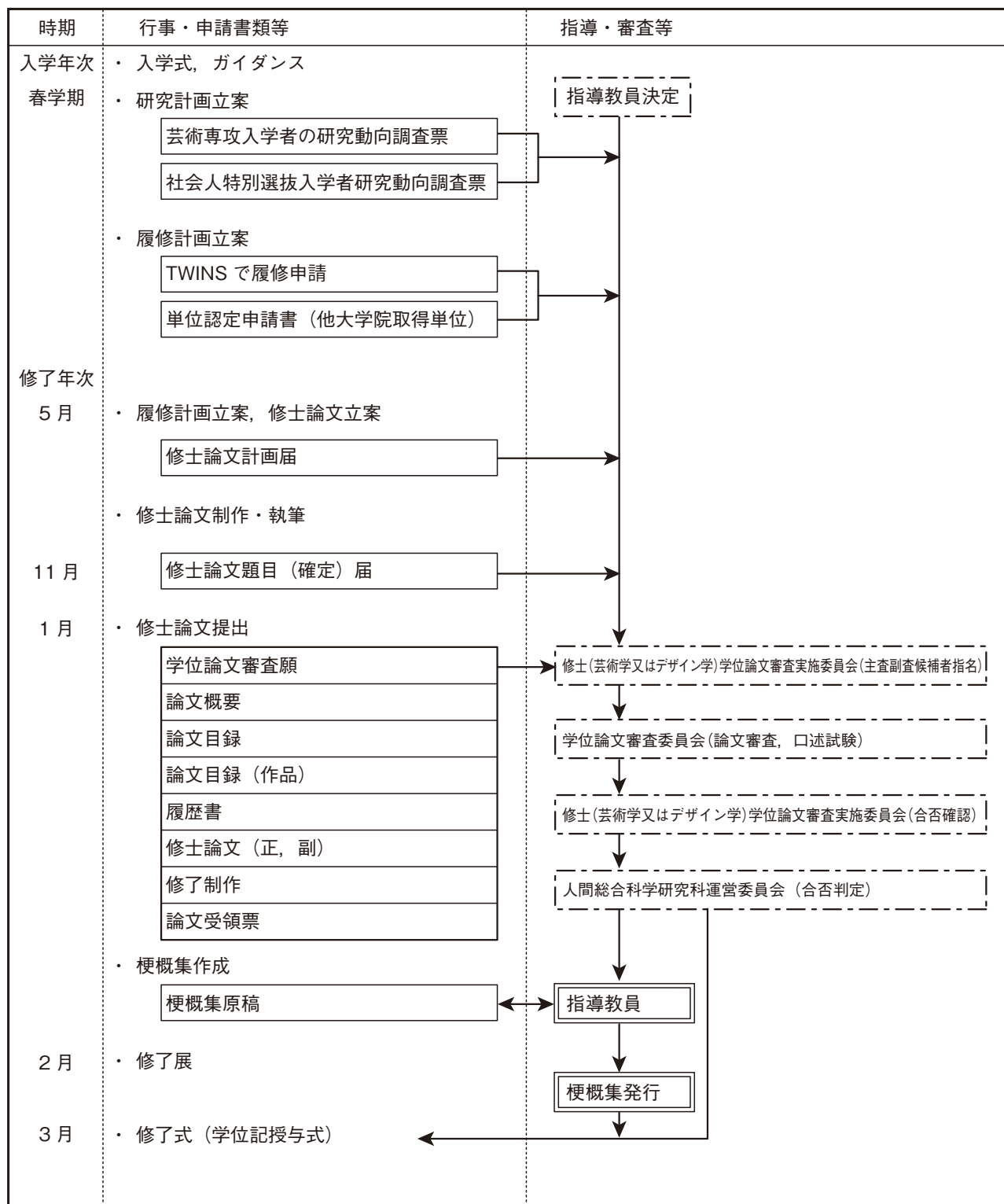
専 攻 共 通 科 目		専 門 科 目				単位合計			
		単位計	選択必修科目（18 単位以上）	関連科目（6 単位以上）	単位計				
構成論特講Ⅰ	(1.5 単位)	6 単位以上	環境デザイン論特講	(2 単位)	都市形成史	(2 単位)	24 単位以上	30 単位以上	
構成論特講Ⅱ	(1.5 単位)		都市・地域設計論特講	(2 単位)	都市景観論	(2 単位)			
デザイン特講A	(1 単位)		サイトプランニング論特講	(2 単位)	居住環境計画論	(2 単位)			
デザイン特講B	(1 単位)		建築・都市パッシブデザイン論特講						
デザイン特講C	(1 単位)			(2 単位)	以上システム情報工学研究科授業科目。その他、10 単位を限度として、所属領域群以外の領域、本研究科の他専攻、他研究科で開講されている科目で研究上必要とするもの。				
デザイン特講D	(1 単位)		デザイン総合演習	(2 単位)					
大学を開くデザインプロデュース			環境デザイン演習	(2 単位)					
特講・演習 A－Ⅰ	(1.5 単位)		環境デザイン領域特別演習	(3 単位)					
特講・演習 A－Ⅱ	(1.5 単位)		環境デザイン領域特別研究	(3 単位)					
大学を開くデザインプロデュース				(14 条対応)					
特講・演習 B－Ⅰ	(1.5 単位)								
特講・演習 B－Ⅱ	(1.5 単位)								
その他の専攻共通科目									

建築デザイン領域の参考履修例

専攻共通科目		単位計	専門科目			単位合計
			選択必修科目 (20 単位以上)	関連科目 (4 単位以上)	単位計	
構成論特講Ⅰ	(1.5 単位)	6 単位以上	建築構法論特講	デザイン学領域群の科目の中から選択するもの。 その他、10 単位を限度として、所属領域群以外の領域、本研究科の他専攻、他研究科及び学群で開講されている科目の中からで研究上必要とされるものを選択する。	24 単位以上	30 単位以上
構成論特講Ⅱ	(1.5 単位)		建築計画論特講			
デザイン特講 A	(1 単位)		建築設計論特講			
デザイン特講 B	(1 単位)		建築・都市フィールドデザイン論特講			
デザイン特講 C	(1 単位)		(2 単位)			
デザイン特講 D	(1 単位)		建築・都市パッシブデザイン論特講			
大学を開くデザインプロデュース			(2 単位)			
特講・演習 A-I	(1.5 単位)		デザイン総合演習			
特講・演習 A-II	(1.5 単位)		建築デザイン演習			
大学を開くデザインプロデュース			環境デザイン演習			
特講・演習 B-I	(1.5 単位)		インターンシップ			
特講・演習 B-II	(1.5 単位)		建築デザイン領域特別演習			
			建築デザイン領域特別研究			
その他の専攻共通科目			(14 条対応)			

資 料

修了までの流れ



＜資料 2＞

＜書式見本＞

研究動向調査票 [表] (一般・社会人)

- ・ 実際の用紙は A4 サイズです
- ・ 型式、文言が変更される場合もあるので、提出時の指示に従うこと

年度 人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻入学者
(一般・社会人特別選抜) 研究動向調査票

年 月 日

領域群	領域		
学 籍 番 号	氏 名	生 年 月 日	
		昭和/平成	年 月 日
現 住 所	〒 — TEL — —		
帰 省 先 住 所	〒 — TEL — —		
最 終 大 学	大学	学群	学類
		学部	学科
研 究 動 向	(研究テーマ)		
	(研究動向概要)		
修了後の志望			
指導教員	印	副指導教員	印

※社会人特別選抜入学者は、裏面も記入のこと。
提出〆切： 年 月 日 () : 提出先 芸術学系棟 2 階 芸術系事務室

<書式見本>

研究動向調査票〔裏〕(社会人)

・実際の用紙は A4 サイズです

・型式、文言が変更される場合もあるので、提出時の指示に従うこと

以下は、社会人特別選抜入学者のみ記入のこと（一般入学者は記入不要）。

勤務先	名 称	〒 — Tel — —
	所在地	
最終大学卒業後の略歴		年 月
		年 月
		年 月
		年 月
		年 月

修了までの履修・研究計画

--

履修・研究計画の概略図

年次	項目	春学期	秋学期
1	所在		
	内容		
2	所在		
	内容		

記入例：所在欄（学内・学外・職場等 任意・複数可）

内容欄（授業・調査・論文作成等 任意・複数可）

社会人特別選抜入学

学 生 氏 名 _____ 印

社会人特別選抜入学

研究指導教員署名

副指導教員署名

_____ 印 _____ 印

指導教員所見（特記事項があれば）：

年 月 日

筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻
修士論文計画届

学籍番号 _____ 氏 名 _____

1. 論文題目	
2. 研究の目的、意義	
3. 研究内容及び方法	
4. 研究計画	
5. 資料（中心資料及び 関連資料）	

指導教員 _____ 印 副指導教員 _____ 印

<書式見本>

修士論文題目（確定）届

・型式、文言が変更される場合もあるので、提出時の指示に従うこと

年 月 日

筑波大学大学院博士前期課程芸術専攻

修士論文題目（確定）届

（注）この届出後の題目変更はできませんので注意してください。

修士論文提出時の題目が異なる場合は論文を受理できません。

学籍番号

氏 名

論文題目

※ 楷書で丁寧に記入すること（作品名が未確定の場合、現時点では記入不要）

指導教員

印

副指導教員

- ・実際の用紙はそれぞれ A4 サイズです
- ・型式、文言が変更される場合もあるので、提出時の指示に従うこと

専攻長印

指導教員印

学 位 論 文 審 査 願

年 月 日

氏名

印

筑波大学大学院人間総合科学研究科
芸術専攻（博士前期課程）
年度入学 学籍番号

人間総合科学研究科長 殿

国立大学法人筑波大学学位規程第 4 条の規定により、修士（ ）の学位論文に下記の書類を添えて提出しますので、審査願います。

記

1. 論文概要

2. 論文目録

3. 履歴書

4. 論文公正に関する確認書

1 通

1 通

1 通

1 通

博士前期課程修了予定者 各位

修了研究の提出について

このことについて、下記のとおり取り扱うので遺漏のないよう提出すること。

記

1. 提出日時 年 月 日 () 13:30～16:00 (厳守)

2. 提出場所 芸術学系棟 2 階 B203 会議室 (修了制作を除く)

3. 提出を要するもの

① 学位論文審査願 1 通 (所定用紙を使用)

② 論文概要 1 通

③ 論文目録 1 通 (所定用紙を使用)

④ 履歴書 1 通 (所定用紙を使用)

⑤ 修士論文 (正) 1 通

(芸術学領域群)

美術史・芸術支援の各領域においては論文、洋画・日本画・彫塑の各領域においては作品及び研究報告書、書領域においては作品及び論文とする。

(デザイン学領域群)

論文または作品とする。ただし、作品の場合は研究報告書を添付すること。

芸術学領域群・デザイン学領域群共通

・A4 判縦位置横書き。

・PC、ワードソフト等の使用及びその書式については指導教員に指導を受けること。

・制作作品写真 (図版) (キャビネサイズ以上、モノクロ・カラーいずれも可) は A4 判台紙に貼付又は PC 等より印刷した用紙を添付すること。

・本文と同じ用紙でバインダーに表紙を付け、適宜の位置に「論文題目・学籍番号・氏名」を大きな文字で記載すること。

⑥ 修士論文 [副] 2 通

・ 論文、写真 (図版) ともコピー可、ただし保存中に消えるおそれのないものに限る。

・ 修士論文 [正] と同様を表紙をつける。

⑦ 修了制作

・ 作品の裏面に論文目録 (作品) を貼付すること (1 作品につき 1 枚ずつ)

・ 作品の提出に当たっては、下表の提出場所に必ず本人が確認時間の 10 分前まで待機して作品の確認を受けること。

修了制作 (作品) 受付 年 月 日 () 下記時間

領 域	提出場所	提出確認時間	順番
洋 画	B 4 0 6	10:00～10:10	1
日 本 画	5 C 3 0 6	10:25～10:35	7
彫 塑	本彫室 (工房)	11:05～11:15	6
書	B 6 3 9	11:40～11:50	10
構 成	6 A 2 0 3	10:35～10:45	3
総 合 造 形	総合組立室	10:45～10:55	4
ク ラ フ ト	焼成室・作業コート・ ガラス実習室・木工組立室	10:55～11:05	5
ビジュアルデザイン	B 3 4 1	11:15～11:25	8
情報デザイン			
プロダクトデザイン	6 B 3 0 2	10:10～10:25	2
環境デザイン			
建築デザイン	B 5 4 2	11:25～11:40	9

4. その他

① 学位論文審査申請に係る書類は、 月 日 () から、芸術系事務室で配付する。

② 修士論文 [正] 及び [副] は、それぞれ適当なバインダーに挟んで提出すること (2 穴タイプは不可)。

③ 合格者の論文は、概要をまとめ「修士論文梗概集」として刊行される。

梗概集の関係書類を 月 日 () の論文受付時に配付するので日程に従って原稿作成、校正等を行うこと。

また、梗概集に登載される修了制作の写真撮影を 1 月中旬に行うので、修了作品提出者は必ず本人が立ち合い撮影の補助に従事すること。

④ 作品は、修了判定後指導教員の指示により返却する。

⑤ 課程修了要件については、十分留意し、特に単位修得状況は事前に確認しておくこと。

博士前期課程芸術専攻長

<書式見本>

論文概要の書き方について

※論文（正・副）
及び目録の論文
題目と必ず一致
させること。

○○○○○○○○○
作品「△△△△」及び研究報告書 ××××

※必ず記載すること

人間総合科学研究科 博士前期課程
芸術専攻（洋画領域）
□□□□□□□□
筑波太郎

※□には学籍番号を記載すること

○○○○○○○○○-----

□ A4判縦位置横書き □
800字程度

＜書式見本＞

- ・ 実際の用紙はそれぞれ A4 サイズです

- ・型式、文言が変更される場合もあるので、提出時の指示に従うこと

修士論文題目の書き方について

修士論文題目の書き方は下記 $A \cdot B \cdot C$ いずれかによるものとする。

2

[illegible]

(注)○○○○○は修士論文研究題目

[illegible]

★論文提出の際、「論文題目(確定)届」と全く同一であることを照合の上受理されるので、題目の記載にあたっては、一字一句、ダッシュやカッコの形にまで十分注意を払うこと。

★副題に使用する記号はダッシュを使用すること。(記載例②を参照)

(記載例)

① ホログラフアーにおけるアートとテクノロジーの関係

② 場所と建築の関係 — ライト作品によるその分析的研究 — 作品「△△△△」及び研究報告書

領域群・領域に対応する題目

[illegible]

デザイン学領域群

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 博士前期課程
□□□□□□□□ 芸術専攻 (○○○○○領域)
筑波太郎

※□□には学籍番号を記載するところ

＜論文表紙の例＞

年度
博士前期課程
修士論文

[illegible]

論申様式 1

論 文 目 録

筑波大学

人間総合科学研究科	芸 術 専攻 (博士前期課程)	学 籍 番 号	氏 名	印
論 文				
1. 題 目				
2. 印刷公表の方法及び時期				
参 考 論 文				

(備考) 論文題目が外国語の場合は、日本語訳を () を付して記入してください。

論 文 目 録

筑波大学

人間総合科学研究科	芸 術 専攻 (博士前期課程)	学 籍 番 号	氏 名	印
<p>論 文</p> <p>1. 題 目</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>作品「△△△△」及び研究報告書</p> <p>↑ 作品提出がある場合は必ず記載すること</p> <p>※論文題目が外国語の場合は日本語の訳文を（ ）を付して記入すること</p> <p>2. 印刷公表の方法及び時期</p> <p>梗概集、修了制作展</p>				
<p>参 考 論 文</p> <p>(本研究に関連する内容の<u>本人の論文</u>がある場合に記載する)</p>				

(備考) 論文題目が外国語の場合は日本語で訳文を（ ）を付して記入すること。

論申様式 2

履 歴 書

年 月 日

(ふりがな)

氏 名 :

性別 :

(ローマ字氏名も記入)

生 年 月 日 : (西暦) 年 月 日生 (歳)

本 籍 (外国人の場合は国籍) :

現 住 所 : 〒 ー

電話 () ー

学 歴 (大学以上) :

(西暦) 年 月

年 月

年 月

年 月

年 月

職 歴 :

(西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日

年 月 日 ~ 年 月 日

年 月 日 ~ 年 月 日

上記のとおり相違ありません。

(自筆署名)

履 歴 書

年 月 日

(ふりがな) ○ ○ ○ ○

氏 名： ○ ○ ○ ○ 性別： ○

(ローマ字氏名も記入) (英文学位記にはここに書いた順番で作成されます。)

A B C D E F G

生 年 月 日： 19○○年○○月○○日生(○○歳)(申請時の年齢)

本 籍(国籍)： ○○県 ←忘れずに記入すること

現 住 所： 〒○○○-○○○○
 茨城県○○市○○ 1-2
 電話(○○○)○○○-○○○○

学 歴(大学以上)：

20○○年 4月 ○○大学○○学部○○学科 入学
 20○○年 3月 同 上 卒業
 20○○年 4月 ○○大学○○学部研究生 入学
 20○○年 3月 同 上 終了
 20○○年 4月 筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術専攻(博士前期課程) 入学
 2018年 9月 同 上 修了見込

(↑他大学大学院に在籍していたことがある場合も記載すること)

職 歴：

20○○年○月○日～20○○年○月○日 ○○研究所○○研究員
 20○○年○月○日～ 現在 (株)○○製作所社員

上記のとおり相違ありません。

○ ○ ○ ○

(自筆署名)

注) 本履歴書の氏名欄の記載に基づき、学位記を作成しますので、氏名は楷書ではっきりと記入してください。

なお、英文学位記を併せて作成しますので、ローマ字氏名もはっきりと記入してください。

論文目録（作品）

筑波大学

人間総合科学研究科	芸術専攻 (博士前期課程)	<u>学 籍 番 号</u>	氏 名	印
			指 導 教 員	印
作 品 名				

.....き り と り

論文目録（作品）

筑波大学

人間総合科学研究科	芸術専攻 (博士前期課程)	<u>学 籍 番 号</u>	氏 名	印
			指 導 教 員	印
作 品 名				

.....き り と り

論文目録（作品）

筑波大学

人間総合科学研究科	芸術専攻 (博士前期課程)	<u>学 籍 番 号</u>	氏 名	印
			指 導 教 員	印
作 品 名				

<資料 11>

<書式見本>
論文受領票

・型式、文言が変更される場合もあるので、提出時の指示に従うこと

受付番号 _____

年度修士論文受領票（芸術専攻事務控）

人間総合科学研究科	芸術専攻（博士前期課程）
学 籍 番 号	
氏 名	
論 文	全 3 冊

.....きりとらないこと

受付番号 _____

年度修士論文受領票（学生控）

人間総合科学研究科	芸術専攻（博士前期課程）
学 籍 番 号	
氏 名	
論 文	全 3 冊

＜書式見本＞

・型式、文言が変更されます。修了年に配布される書式を確認すること。

梗概集 要項とスケジュール（参考）

平成31年1月7日

芸術教員、博士前期課程芸術専攻修了予定者各位

博士前期課程芸術専攻カリキュラム委員会

「平成30年度 博士前期課程芸術専攻修士論文梗概集」要項とスケジュール

体裁／A4判、オフセットカラー印刷。内容／修了を認定された修士論文の概要の紹介（※1）

ページ数／1人あたり見開き2ページ（文章、写真、図表などを含む）。発行／修了式当日 1人3部ずつ配布予定

スケジュール

月日	内容	学生、指導教員		カリキュラム委員
1月7日(月)～ 1月11日(金)	レイアウト案	学生はレイアウト案を担当指導教員のもとへ持参し、掲載図版を決め、写真撮影に関するアドバイスを受ける。		各領域のカリキュラム委員 美術史：寺門、芸術支援：直江、 洋画：福満、日本画：程塚、彫塑：大 原、 書：菅野、構成：上浦、総合造形：小 野、クラフト：鄭、ビジュアルD：原、 情報D：内山、プロダクトD：山田、 環境D：渡、建築D：加藤
	作品写真撮影	撮影日程については別紙参照。撮影場所は工房棟撮影スタジオ等。各自制作品とUSBフラッシュ(氏名を記入)を持参し必ず立ち会うこと。また撮影担当者(鷺野谷さん)の作業を補助し指示に従うこと。写真撮影終了後、写真画像データを鷺野谷さんより学生に配布する。(※2) ※修了制作展会場(つくば美術館)での撮影は、印刷に間に合わないので予定しないこと。		
1月12日(土)～ 1月22日(火)	文字原稿	内容：氏名(和文)、氏名(英文)、研究テーマ(和文)、研究テーマ(英文)、領域群と領域(和文)、本文、図版のキャプション(作品タイトル[和文]、作品タイトル[英文]、サイズ、材料、制作年月、など)、参考文献(注1、・・・)など。		レイアウト指示用の、フォーマットデータ(Illustrator)を必要に応じて学生に配布
		Word(マイクロソフト)のデータで提出する(※3)。英数字はすべて半角で入力する。本文文字数は2,000字以上とする。文字データをプリントアウト(A4サイズ)し、文字総数を記入する。手書き原稿不可。		
	写真原稿	自分で用意した画像を使用する場合：CMYKまたはグレースケールのEPS形式、解像度はサイズ100%で350dpiとする。		
	レイアウト指示	別紙1の「レイアウト指示サンプル」を参考に、文字や図の配置を枠を描いて専用レイアウト用紙に指示する(図版の縦横比率は正確に)。図版に関する指示はプリントアウトやコピーを必ず貼りつけること。図版の色はプリントアウトを重視する。必要な場合には、図版などに番号を付ける(図1、表1・・・)。参考文献などは、右下にまとめる。レイアウト指示には、フォーマットデータ(Illustrator)を使用してもよい。		
		指導教員は文字原稿レイアウトと指示を校閲する。不備がある場合は訂正の指示をする。		
	原稿提出	データ	テキスト(Word)と図版データをそれぞれ分けて作成し、CDまたはUSBフラッシュに保存して提出する。メディアには学籍番号、領域、氏名を記入すること。	
レイアウト指示		指定したレイアウト用紙には学籍番号、領域、氏名を記入すること。またレイアウト用紙はコピーをとり、控えとして各自保存しておくこと。		
封筒		原稿完成後、メディアとレイアウト用紙を封筒(角2サイズ)に入れる。別紙2の「原稿整理用紙」に必要事項を記入し、封筒の表に貼り付け、指導教員の承認サインを受ける。		
原稿〆切		学生(または指導教員)はカリキュラム委員へ、1月22日(火)の午前中までに提出する。		
1月23日(水)～ 2月7日(木)午前	印刷会社作業			→カリキュラム委員は原稿を五十音順に整理して、系事務室特設ボックスへ提出する。締め切り：1月22日(火)午後4時。
2月7日(木)午後～ 2月13日(水)	初校チェック	初校を学生と指導教員がチェックし完了後、学生(または指導教員)が2月13日(水)の午前中までに、カリキュラム委員へ初校を戻す。※4		→カリキュラム委員は学系事務室特設ボックスへ提出する。締め切り：2月13日(水)午後4時厳守
2月14日(木)～ 2月21日(木)午前	印刷会社作業			→カリキュラム委員は再校を学生(または指導教員)に渡す。2月21日(木)午後～
2月21日(木)午後～ 2月27日(水)	再校チェック(訂正があった場合のみ)	再校を学生と指導教員がチェックし完了後、学生(または指導教員)が2月27日(水)の午前中までに、カリキュラム委員へ原稿を戻す。※4 ※5		→カリキュラム委員は学系事務室特設ボックスへ提出する。締め切り：2月27日(水)午後4時厳守
2月27日(水)～ 3月20日(水)	印刷会社作業	印刷、製本		
3月20日(水)	納品			→3月25日(月)大学院学位記授与式の当日、大学院教務が学生に配布。

※1. 不合格判定のなされたものについては収録されない。

※2. 撮影日の変更を希望する場合には、当初の撮影日前日までに、鷺野谷さん（2794 または 2862）まで必ず申し出ること。

※3. Windows、Macintoshどちらでもよい

※4. 初校チェック、再校チェック等の際にやむを得ぬ事情で不在となる場合には、指導教員にその旨伝え、全体の進行が滞ることがない
ように、作業を指導教員に一任すること。

<書式見本>

博士前期課程修了予定者 各位

梗概集における修士論文題目の英文併記について

別紙の通り、修士論文の英文併記は廃止されましたが、梗概集は従来通りですので、下記の書き方に沿って文字原稿作成をし、梗概集の原稿提出（1月下旬）に備えておいてください。

【氏名】

苗字はすべて大文字、名前の頭文字のみ大文字を使用する。

例： 筑波太郎 > TSUKUBA Taro

【論文題目】

1) 文頭は大文字で始める。なお「Study」の前には The をつけない。

例：「－の研究」「－に関する研究」の場合

○ (A) Study on－ もしくは (A) Study of－

2) 名詞、動詞、形容詞の各単語は頭文字のみ大文字で書く。

3) 〔作品「△△△△」〕は、英文ではダブルクォーテーション〔“ ”〕を使用する。

例：Work “△△△△”

4) 副題の〔－ －〕は、英文ではコロン〔:〕を使用し、コロンの後を半角あける。（記載例②を参照）

5) 題目および副題中の作品名、書名はイタリック体で書く。

（記載例）

① ホログラフィーにおけるアートとテクノロジーの関係

Relationship between Art and Technology in Holography

② 場所と建築の関係 － ライト作品によるその分析的研究 －

作品「△△△△」及び研究報告書

Relationship between Place and Architecture : □ An Analytical Study on

F.L.Wright's Architecture

（↑コロンの後を半角あける）

Work “△△△△” with Research Paper

【作品および図版下の説明部】（該当者対象）

1) 作品名には「 」をつける。

2) 作品名の英訳部は、ダブルクォーテーション〔“ ”〕を使用する。

3) 副題の〔－ －〕は、英訳部ではコロン〔:〕を使用する。

4) 作品のサイズは、平面作品では縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行きの順に表記する。

・型式、文言が変更される場合があります。

別紙2：原稿整理用紙

必要事項を記入し、原稿を入れる封筒の表に貼り付けてください。

学籍番号	領域
氏名	
電話（携帯）番号	—
メールアドレス	@

いずれかに○をつけてください
USBメモリー・CD・MD・FD

特記事項

指導教員承認サイン

印

平成24年度人間総合科学研究科博士前期課程長印等及博士論文検閲表

別紙1：レイアウト指示サンプル

氏名 (和文) 氏名 (英文) 研究テーマ (和文) 研究テーマ (英文) 研究領域 (和文) 研究領域 (英文)	図版	文章	文章	文章
		作品タイトル (和文) 作品タイトル (英文) サイズ、材料、制作年月	文章	文章

*縦横比を正確に描く

レイアウトサンプル

図版	文章
図版	文章

キリトリ線

年 月 日 () までに、芸術系事務室へ提出すること。

研究・作品公開の承諾について

下記の研究・作品を、筑波大学・筑波大学芸術関連組織が広報及び教育・研究成果の公開を目的として刊行する印刷物及びWeb ページへの掲載に限って使用することを認めます。

[研究題目]

[作品題目]

年 月 日

所属 筑波大学人間総合科学研究科

芸術専攻(博士前期課程)

領域

氏名



(自筆署名・押印して下さい。)

※作品の提出が無い場合は、「なし」と記入してください。

芸術関連施設等配置図

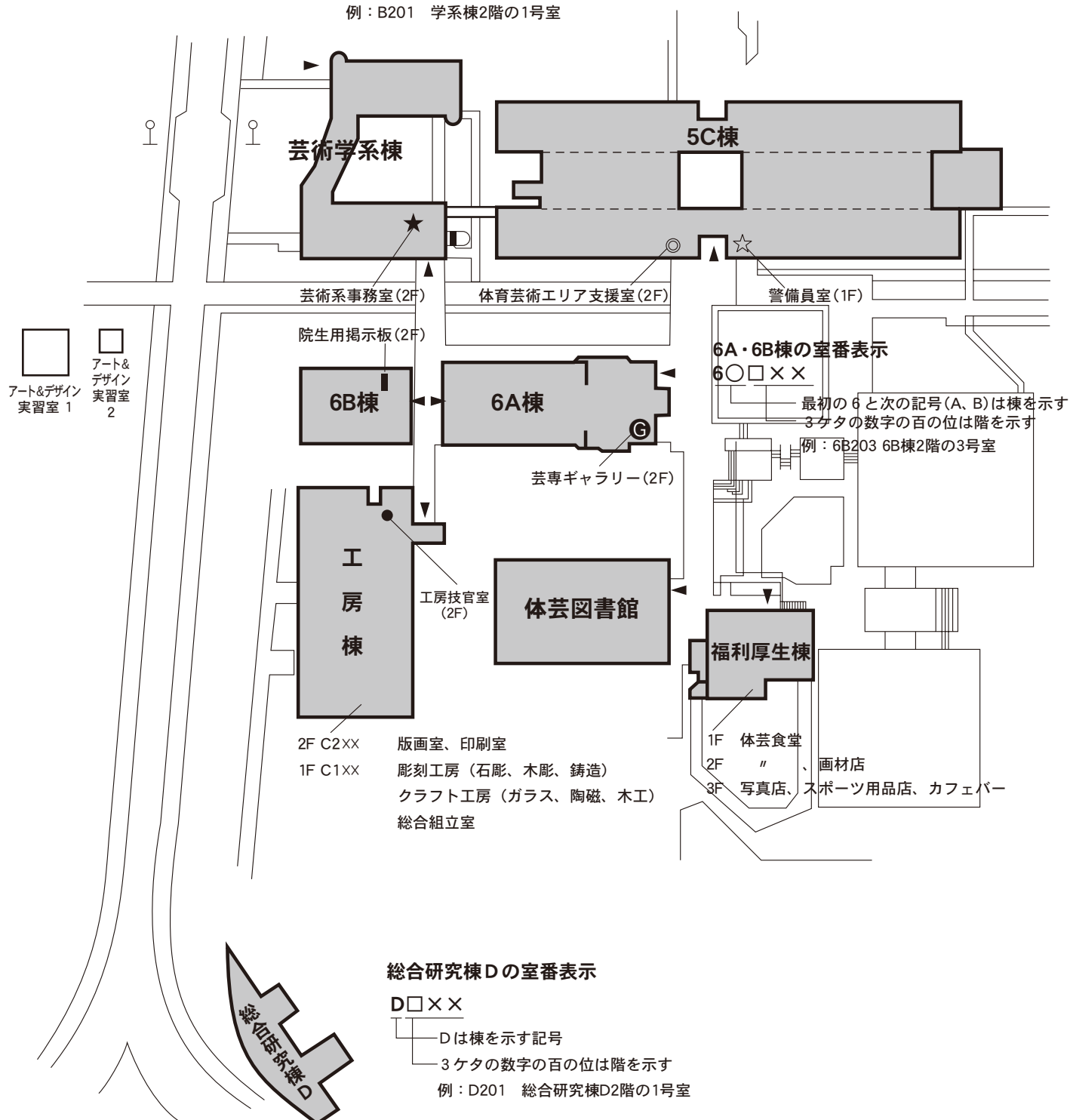
芸術学系棟の室番表示

B□××

Bは棟を示す記号

3ケタの数字の百の位は階を示す

例：B201 学系棟2階の1号室



人間総合科学研究科芸術専攻授業担当教員オフィスアワー等一覧

芸術専攻 担当領域群	教員氏名	職名	研究室	内線	E-mail	オフィスアワー
芸 術 学 領 域 群	石崎 和宏	教 授	B435	2707	ishizaki*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	火 16:30 ~ 17:30
	太田 圭	教 授	B637	6374	ohta*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 12:30 ~ 13:30
	長田 年弘	教 授	B338	2819	osada*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	大原 央聡	教 授	B135	2844	hoha*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	月 9:00 ~ 10:00
	菅野 智明	教 授	B535	2715	kanno*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	火 12:30 ~ 13:30
	内藤 定壽	教 授	B634	2722	knightou*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	木 12:00 ~ 13:00
	直江 俊雄	教 授	B331	2821	naoe*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 12:30 ~ 13:30
	中村 伸夫	教 授	B537	2717	nobunaka*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	木 18:00 ~ 19:00
	仏山 輝美	教 授	B632	2720	hotoke*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	月 12:30 ~ 13:30
	森岡 隆	教 授	B536	2716	forest*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 11:15 ~ 12:15
	田島 直樹	准教授	B636	2724	tajima*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 13:00 ~ 14:00
	寺門 臨太郎	准教授	B436	2824	terakado*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	林 みちこ	准教授	B437	2856	ichikohayashi*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	福満 正志郎	准教授	B635	2723	syof*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	火 12:00 ~ 13:00
	程塚 敏明	准教授	B638	2827	kiku*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 12:30 ~ 13:30
	山本 浩之	准教授	B434	2860	t-yama*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 12:30 ~ 13:30
	水野 裕史	助 教	B337	2845	myuji*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	宮坂 慎司	助 教	B142	2840	shmiyasa*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	大久保 範子	助 教	B137	2732	norikontakt*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	木 10:30 ~ 11:30
	星 美加	助 教	B633	2721	mikahoshi*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
デ ザ イ ン 学 領 域 群	五十嵐 浩也	教 授	B304	2701	igara*.*kansei.tsukuba.ac.jp	月 11:00 ~ 12:00
	國安 孝昌	教 授	B306	2831	kuniyasu*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 17:00 ~ 18:00
	野中 勝利	教 授	B432	2704	nonaka*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	木 12:00 ~ 13:00
	花里 俊廣	教 授	B532	2708	hanazato*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 9:00 ~ 10:00
	山中 敏正	教 授	D214	2702	tyam*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	木 14:00 ~ 15:00
	小山 慎一	教 授	B303	2853	skoyama*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	月 14:00 ~ 15:00
	田中 佐代子	教 授	B335	2823	satanaka*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	李 昇姫	准教授	D513	2700	lee*.*kansei.tsukuba.ac.jp	火 16:30 ~ 17:30
	内山 俊朗	准教授	D218	2837	uchi*.*kansei.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	貝島 桃代	准教授	B533	2709	mkajima*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	齋藤 敏寿	准教授	B138	2849	toshiju*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	橋本 剛	准教授	B534	2710	go*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	火 10:00 ~ 12:00
	宮原 克人	准教授	B136	2843	miyahara*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 17:00 ~ 18:00
	山田 協太	准教授	B532	2838	kyoutay*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	山本 早里	准教授	B310	2836	y-sari*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	木 12:30 ~ 13:30
	渡 和由	准教授	B433	2705	watari*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	木 17:00 ~ 18:00
	原 忠信	准教授	B332	2829	tad*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	小野 裕子	助 教	B307	3010	ono-y*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	火 16:30 ~ 17:30
	上浦 佑太	助 教	B308	2828	ykamiura*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	月 17:00 ~ 18:00
	加藤 研	助 教	B531	8494	o-kato*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	鄭 然暉	助 教	B309	3893	yeonglass*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	村上 史明	助 教	B305	2832	fumiaki*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	山田 博之	助 教	D215	6208	yamada*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	山本 美希	助 教	B333	2846	mk-yamamoto*.*geijutsu.tsukuba.ac.jp	火 14:00 ~ 15:00

注 E-mail 使用の際は *.* の * マークを削除して使用のこと。



筑波大学大学院人間総合科学研究科
博士前期課程芸術専攻 履修便覧 2019

発行日 2019 年(平成 31 年)3 月

編集 筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻カリキュラム委員会

発行 筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻

〒305-8574 茨城県つくば市天王台 1-1-1
